

# セメントハンドブック

CEMENT HANDBOOK 2025

2025年度版



一般社団法人セメント協会

コンクリートの製造には、  
セメントが使用されています。

じつは、街中にあるコンクリートは、  
大気中の二酸化炭素を吸収します。

二酸化炭素を取り込んだコンクリートは、  
セメントの原料となり、  
ふたたびコンクリートへと生まれ変わることができるのです。

自然と共生する素材をめざして。  
セメントは、カーボンサイクルを実現します。

事実。  
コンクリートは  
CO<sub>2</sub>を吸収する。

# セメントハンドブック

2025年度版

一般社団法人セメント協会

## 凡 例

1. 工場の定義は次のとおりである  
クリンカ焼成設備を保有し、セメントを生産、出荷出来る事業所
2. 製造様式の略式記号は次の呼称である
  - ① NSP … 新サスペンションプレヒータ付キルン
  - ② S P … サスペンションプレヒータ付キルン
3. 輸入  
輸入数値は、財務省貿易統計による通関ベース
4. 工場外貯蔵出荷設備は通常、SS(サービスステーション)という
5. 千t以下を四捨五入したため、必ずしも合計に合致しない
6. 暦年の数字を使っている表の対前年比は、暦年対暦年である

# 目次

<b>I. セメント産業の現況</b> .....	1	<b>V. 原料、エネルギー</b> .....	18
<b>II. 企業概況</b> .....	2	1. 原料、エネルギー消費量及び原単位 .....	18
1. セメント企業の概要 .....	2	2. 原料、エネルギーの構成図 .....	19
2. 企業経営 .....	2	(1) 種類別原料消費量構成比 .....	19
3. 工場分布 .....	3	(2) 国別石炭入着量構成比 .....	19
(1) セメント工場の分布 .....	3	(3) 用途別熱エネルギー消費量構成比 .....	19
(2) 所在地及びクリンカ製造能力 .....	4	(4) 部門別電力エネルギー消費量構成比 .....	19
4. 様式別製造能力、キルン保有基数 .....	5	3. 熱エネルギー原単位、電力エネルギー原単位の推移 .....	19
(1) 様式別製造能力構成比の推移 .....	5	<b>VI. 生産性</b> .....	20
(2) 様式別製造能力及びキルン保有基数 .....	5	1. 生産性 .....	20
5. セメント業界における廃棄物・副産物使用量 .....	6	(1) 工場労働者数と労働生産性の推移 .....	20
<b>III. 需給状況</b> .....	7	<b>VII. 関連製品</b> .....	21
1. 需給 .....	7	1. 生コンクリート出荷量 .....	21
(1) セメントの生産・販売及び在庫 .....	7	2. 地区別生コンクリート工場数 .....	21
2. 生産動向 .....	8	3. セメント・コンクリート製品生産量 .....	22
(1) 実数 .....	8	<b>VIII. 市況</b> .....	23
(2) 前年比 .....	8	1. 主要都市のセメント価格 .....	23
(3) 種類別セメント生産構成比の推移 .....	8	2. 主要資材価格 .....	24
3. 需要部門別販売量 .....	9	<b>IX. 世界のセメント生産量</b> .....	25
(1) 実数 .....	9	1. 世界主要国のセメント生産量 .....	25
(2) 構成比 .....	9	<b>X. 関連経済指標</b> .....	26
4. 国内販売の需要構成比 .....	10	1. 国民経済計算 .....	26
5. 種類別国内販売量 .....	10	2. 建設投資 .....	27
6. 荷姿別国内販売量 .....	10	3. 建設工事受注、公共工事前払金保証関係請負額、 建築着工 .....	28
7. 都道府県別販売量 .....	11	4. 主要国の建設投資と建設業 .....	28
8. 国内販売の季節変動 .....	12	5. 社会資本整備の状況 .....	29
(1) 季節変動指数 .....	12	(1) 国際比較 .....	29
(2) 地区別季節変動指数 .....	12	(2) ダム向セメント納入量 .....	30
9. 輸出 .....	13	<b>参考</b> .....	
(1) 主要仕向地別輸出量 .....	13	1. セメント需給の推移 .....	31
(2) 地域別輸出量の推移 .....	13	2. セメントの製造工程 .....	32
10. 輸入 .....	14	3. JISセメントの種類 .....	32
(1) 国別輸入量 .....	14	<b>セメント協会加盟会社一覧</b> .....	33
(2) 揚地別輸入量 .....	14		
(3) 国別輸入量の推移 .....	14		
<b>IV. 流通</b> .....	15		
1. 都道府県別工場外貯蔵出荷設備 .....	15		
2. 輸送機関別出荷量 .....	16		
(1) 物流図 .....	17		
(2) 商流図 .....	17		
3. 輸送機関保有状況 .....	17		

# I. セメント産業の現況

## 概況

2024年度のわが国経済は、マイナス金利の解除や日経平均株価の過去最高値更新、春闘の賃上げ率がバブル期以来の伸びを記録するなど、デフレ脱却に向けた動きが見られるものの、人手不足に伴う人件費や資材価格の高騰、物価の上昇などが企業経営や個人消費の足かせとなり、内需の弱さが垣間見える。

そのため、政府はデフレを脱却し、新たな経済ステージに移行することを目指して日本経済・地方経済の成長、物価高の克服、国民の安心・安全の確保の3つの柱で構成する「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」を策定し、その裏付けとなる令和6年度補正予算を編成した。

こうした中で、実質成長率は+0.8%となる見込みとなっている。セメント関連項目については、公共投資は伸び率+1.4%、民間住宅投資は同▲1.0%、民間設備投資は同+2.6%と見込まれる。(内閣府 2025年5月16日公表)

## 需給動向

2024年度のセメント国内需要は32,656千t、前年比94.4%となり6年連続でマイナスとなった。近年の慢性的な人手不足を背景とした工期の長期化や建設コストの上昇などに加え、建設業の2024年問題に関連した働き方改革の影響もあった。建設現場では週休二日制の導入が進み、特に土曜日の出荷が減少した。

官需については、2024年度国の公共事業当初予算は補正予算と合わせて金額ベースでは微増となったものの、労務費や資材費の高騰が続き、金額当りのセメント使用量が減少したことから前年比マイナスとなった。民需についても、住宅投資は建設コストの高騰により減少したものの、設備投資は企業の投資意欲が引続き堅調であることから増加した。しかし、建設現場の人手不足による工期の長期化や資材費高騰による設計変更、建設計画見直しなどの動きによりセメント需要は伸び悩み、結果、住宅投資の落ち込みをカバーしきれず、前年比マイナスとなった。輸出は8,207千t、前年比119.7%と3年ぶりにプラスとなった。主要な輸出先であるアジア、オセアニア向けが底堅く推移したことに加え、中南米、アフリカなど他の地域への輸出も増加した。以上から、生産は45,874千t、前年比97.2%となった。

セメントの国内需要は、バブル経済終盤の1990年度に86,286千tとなりピークを記録したが、その後は長期にわたり縮小傾向が続いている。とりわけ2007年以降は改正建築基準法施行(2007年6月)による混乱の長期化、リーマンショック(2008年9月)による世界的景気後退に伴う民間建設工事の減少、公共工事補正予算の付け替え(2009年9月)、2010年度公共事業予算の大幅削減など、次々と逆風に見舞われ2010年度まで減少した。その後、東日本大震災の復興需要と国土強靱化政策の下、2011年度以降は3年連続して上昇局面に転じた。2014年度以降は3年連続マイナスで推移したのち、2017年度、2018年度は42,000千tを前後したが、2019年度に再び減少に転じ、2020年度には新型コロナウイルスの感染拡大の影響から40,000千tを割り込んだ。その後も減少が続いており、2024年度は32,656千tと6年連続で前年を下回った。これは、58年前の1966年度36,956千tよりも低いレベルとなり、ピーク時の38%となっている。また、生産も同様に1996年度99,267千tのピーク後減少傾向をたどり、2024年度45,874千tは同時期の46%にまで縮小している。

## II. 企業概況

### 1. セメント企業の概要 (2025年4月1日現在)

社名	項目	資本金 (百万円)	決算期	工場数	クリカ製造能力 (千t/年)	在籍従業員数
八戸セメント(株)		100	3月	1	1,114	92
日鉄高炉セメント(株)		100	3月	1	646	194
日鉄セメント(株)		1,500	3月	1	694	149
東ソー(株)※		55,173	3月	1	1,135	45
トクヤマ(株)※		10,000	3月	1	4,446	285
琉球セメント(株)		1,411	3月	1	544	104
荊田セメント(株)		10	3月	1	795	62
太平洋セメント(株)		86,174	3月	6	14,081	2,279
敦賀セメント(株)		1,050	3月	1	536	97
デイ・シイ(株)※		4,013	3月	1	658	172
デンカ(株)※		36,998	3月	1	2,077	110
麻生セメント(株)		100	12月	1	1,241	134
UBE三菱セメント(株)		50,250	3月	4	12,299	2,205
明星セメント(株)		2,500	3月	1	1,524	148
日立セメント(株)		537	3月	1	0	142
住友大阪セメント(株)		41,654	3月	4	7,348	1,407
計		291,570	—	27	49,139	7,625

- (注) 1. 在籍従業員数は2024年12月末現在。  
 ※印は兼業社を示しセメント部門従業員数  
 2. 工場数はエコセメント工場を除く

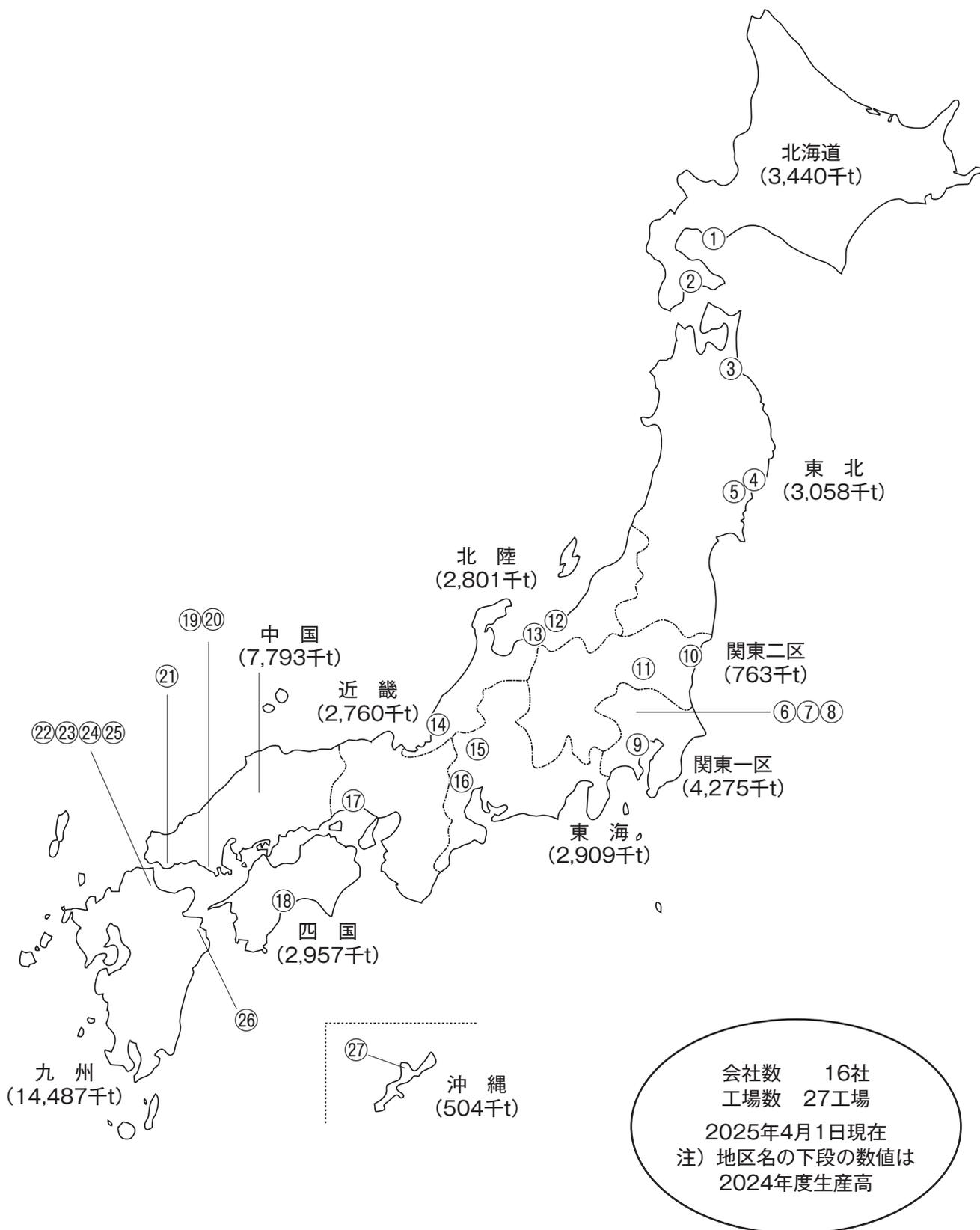
### 2. 企業経営

項目	年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	売上高 (百万円)	全部門	2,540,883	2,420,842	2,785,401	2,810,207	2,615,579	2,585,200	3,135,990	2,259,115	2,155,704
	セメント 部門	540,320	522,643	530,493	542,171	570,761	528,396	497,892	585,545	669,559	655,551
経常利益 (百万円)	全部門	217,741	241,085	276,030	202,920	190,899	190,994	268,209	5,249	138,368	155,907
会社数		17	17	17	17	17	17	17	16	16	16
工場数		30	30	30	30	30	30	30	30	30	28
在籍従業員		7,573	7,311	7,365	7,456	7,698	7,714	7,737	7,706	7,581	7,625
クリカ製造能力 (千t/年)		56,387	55,962	55,172	55,526	54,589	54,279	53,724	53,202	51,098	49,943

- (注) 1. 売上高・経常利益は単体ベース、経常利益については一部未計上  
 2. 工場数はエコセメント工場を除く  
 3. 在籍従業員数は各年の12月末現在、兼業社はセメント部門従業員数

### 3. 工場分布

#### (1) セメント工場の分布



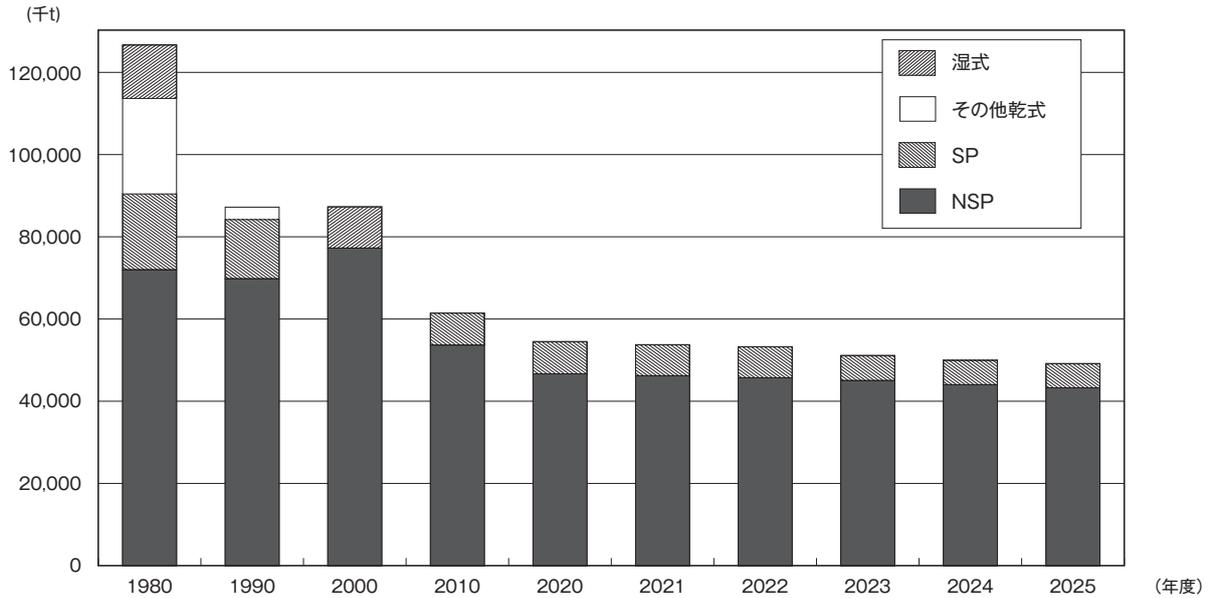
## (2) セメント工場所在地及びクリンカ製造能力

地区	No	社名	工場名	立地区分	所在地	クリンカ製造能力 (千t/年)
北海道	1	日鉄セメント(株)	室蘭	臨海	北海道室蘭市仲町64	694
	2	太平洋セメント(株)	上磯	臨海	北海道北斗市谷好1-151	3,532
		計				4,226
東北	3	八戸セメント(株)	八戸	内陸	青森県八戸市大字新井田字下鷹待場7-1	1,114
	4	太平洋セメント(株)	大船渡	臨海	岩手県大船渡市赤崎町字跡浜21-6	1,998
	5	UBE三菱セメント(株)	岩手	内陸	岩手県一関市東山町長坂字羽根堀50	353
		計				3,466
関東一 区	6	太平洋セメント(株)	熊谷	内陸	埼玉県熊谷市三ヶ尻5310	1,571
	7	UBE三菱セメント(株)	横瀬	内陸	埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬2270	640
	8	太平洋セメント(株)	埼玉	内陸	埼玉県日高市原宿721	1,362
	9	(株) デイ・シイ	川崎	臨海	神奈川県川崎市川崎区浅野町1-1	658
		計				4,232
関東二 区	10	日立セメント(株)	日立	内陸	茨城県日立市平和町2-1-1	0
	11	住友大阪セメント(株)	栃木	内陸	栃木県佐野市築地町715	651
		計				651
北陸	12	明星セメント(株)	糸魚川	臨海	新潟県糸魚川市上刈7-1-1	1,524
	13	デンカ(株)	青海	内陸	新潟県糸魚川市大字青海2209	2,077
	14	敦賀セメント(株)	敦賀	臨海	福井県敦賀市泉2-6-1	536
		計				4,137
東海	15	住友大阪セメント(株)	岐阜	内陸	岐阜県本巣市山口11	967
	16	太平洋セメント(株)	藤原	内陸	三重県いなべ市藤原町東禅寺1361-1	1,677
		計				2,643
近畿	17	住友大阪セメント(株)	赤穂	臨海	兵庫県赤穂市折方1513	2,504
		計				2,504
四国	18	住友大阪セメント(株)	高知	臨海	高知県須崎市押岡123	3,227
		計				3,227
中国	19	(株) トクヤマ	南陽	臨海	山口県周南市御影町1-1	4,446
	20	東ソー(株)	南陽	臨海	山口県周南市開成町4560	1,135
	21	UBE三菱セメント(株)	山口	臨海	山口県宇部市大字小串1978-2	3,685
		計				9,265
九州	22	日鉄高炉セメント(株)	小倉	臨海	福岡県北九州市小倉北区西港町16	646
	23	UBE三菱セメント(株)	九州	臨海	福岡県京都郡苅田町松原町12	7,622
	24	苅田セメント(株)	苅田	臨海	福岡県京都郡苅田町長浜町10	795
	25	麻生セメント(株)	田川	内陸	福岡県田川市大字弓削田2877	1,241
	26	太平洋セメント(株)	大分	臨海	大分県津久見市合ノ元町2-1	3,939
		計				14,244
沖縄	27	琉球セメント(株)	屋部	臨海	沖縄県名護市安和1008	544
合計						49,139

(注) 製造能力は2025年度4月1日現在

#### 4. 様式別製造能力、キルン保有基数

##### (1) 様式別製造能力構成比の推移



##### (2) 様式別製造能力及びキルン保有基数

(単位:基、千t/年)

製造様式		年度	1980	1990	2000	2010	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
乾式	NSP	基数	64	55	55	48	42	42	42	41	41	41	
		能力	71,859	69,736	77,108	53,486	46,717	46,197	45,706	45,022	44,013	43,271	
	SP	基数	24	17	10	9	9	9	9	9	8	8	8
		能力	18,850	14,475	10,115	7,991	7,561	7,527	7,496	6,076	5,930	5,868	
	L	基数	38	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		能力	13,695	950	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	DB	基数	20	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		能力	5,835	2,014	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NCB	基数	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		能力	3,545	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S	基数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	能力	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	基数	152	80	65	57	51	51	51	51	49	49	49	
	能力	113,784	87,175	87,223	61,477	54,279	53,724	53,202	51,098	49,943	49,139		
湿式	W	基数	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		能力	10,022	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	WFB	基数	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		能力	2,035	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	WF	基数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		能力	263	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	WL	基数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		能力	248	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	基数	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		能力	12,568	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	基数	192	80	65	57	51	51	51	51	49	49	49	
	能力	126,352	87,175	87,223	61,477	54,279	53,724	53,202	51,098	49,943	49,139		
クリンカ生産量	千t	86,836	77,366	74,542	47,279	47,522	47,338	43,650	40,316	39,193	-		
キルン稼働率	%	68.7	88.7	85.5	76.9	87.6	88.1	82.0	78.9	78.5	-		

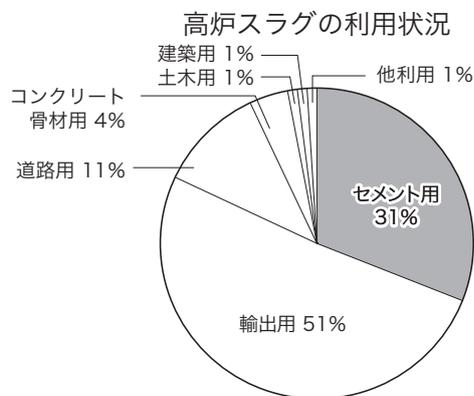
- (注) 1. 基数・能力とも年度始時点  
 2. 93年度より能力算定方式を変更  
 92年度までは時産能力×7200時間、93年度以降は時産能力×7680時間にて算出  
 3. 「その他のセメント」用は含まれていない  
 4. キルン稼働率は、クリンカ生産量をクリンカ製造能力で除した値

## 5. セメント業界における廃棄物・副産物使用量

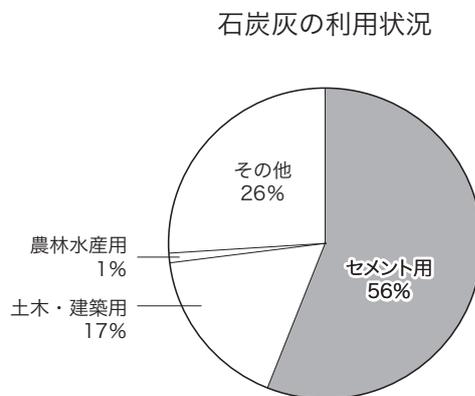
(単位:千t)

種類	主な用途	1990年度	2000年度	2010年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
石炭灰	原料、混合材	2,031	5,145	6,631	7,286	7,450	6,893	6,294	6,188
高炉スラグ	原料、混合材	12,213	12,162	7,408	6,981	6,939	6,519	5,420	5,110
汚泥、スラッジ	原料	341	1,906	2,627	2,950	2,904	2,864	2,653	2,627
副産石こう	原料(添加材)	2,300	2,643	2,037	2,032	2,098	2,000	1,764	1,740
燃えがら(石炭灰は除く)、ばいじん、ダスト	原料	468	734	1,307	1,482	1,471	1,534	1,418	1,324
建設発生土	原料	—	—	1,934	1,241	1,159	946	963	826
廃プラスチック	熱エネルギー	0	102	445	746	774	784	794	820
非鉄鉱滓等	原料	1,559	1,500	682	725	708	612	539	511
製鋼スラグ	原料	779	795	400	364	439	388	385	450
木くず	熱エネルギー	7	2	574	437	400	379	406	367
鋳物砂	原料	169	477	517	336	379	365	351	336
再生油	熱エネルギー	51	239	195	282	236	256	266	284
廃油	熱エネルギー	90	120	275	245	302	273	257	284
廃白土	原料、熱エネルギー	40	106	238	260	267	272	291	269
ガラスくず等	原料	0	151	111	154	151	142	162	121
肉骨粉	原料、熱エネルギー	0	0	68	71	71	68	62	58
RDF、RPF	熱エネルギー	0	27	48	46	34	39	51	53
廃タイヤ	原料、熱エネルギー	101	323	89	69	68	80	62	52
ポタ	原料、熱エネルギー	1,600	675	0	0	0	0	0	0
その他	—	14	253	408	447	445	462	440	447
合計	—	21,763	27,359	25,995	26,155	26,294	24,878	22,579	21,867
セメント生産高		86,849	82,373	55,903	55,894	55,588	51,339	47,049	45,748
セメント1t当たりの使用量(kg/t)		251	332	465	468	473	485	480	478

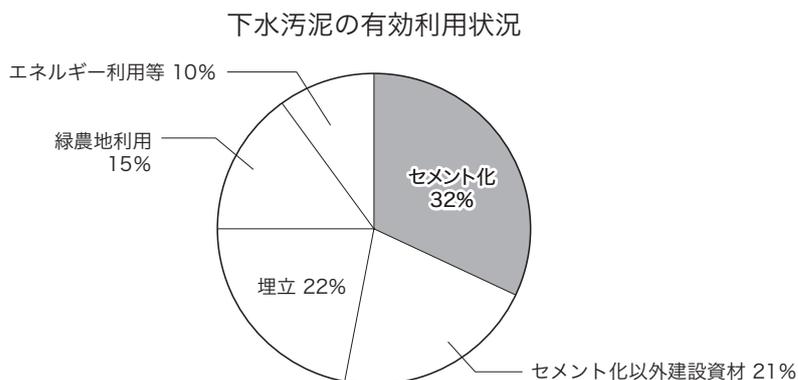
(注) 1.「建設発生土」は2002年度以降調査を開始 2.「汚泥・スラッジ」は下水汚泥を含む  
3.「石炭灰」は電力業界以外の石炭灰を含む 4.「その他のセメント」用は含まれていない



出所：鉄鋼スラグ協会  
2023年度使用量 19,958千t



出所：(一財)カーボンフロンティア機構  
2023年度利用量 7,375千t (電気事業)



出所：国土交通省  
2023年度発生量 2,322千t

### Ⅲ. 需給状況

#### 1. 需給

##### (1) セメントの生産・販売及び在庫

(単位:千t、%)

年度	生産 前年比		販売				期末在庫	輸入	内需		固化材 原料他
			国内 前年比		輸出	合計			前年比		
1970 (S45)	57,582	110.7	56,077	111.5	2,086	58,163	2,104	0	56,077	111.5	-
1971 (S46)	59,629	103.6	58,013	103.5	2,147	60,160	2,055	1	58,014	103.5	-
1972 (S47)	69,539	116.6	69,106	119.1	1,072	70,178	2,011	1	69,107	119.1	-
1973 (S48)	78,250	112.5	76,706	111.0	660	77,367	3,483	393	77,099	111.6	-
1974 (S49)	69,956	89.4	67,807	88.4	2,644	70,451	3,903	16	67,823	88.0	-
1975 (S50)	66,005	94.4	63,649	93.9	4,422	68,071	2,844	0	63,649	93.8	-
1976 (S51)	67,870	102.8	64,825	101.8	5,625	70,450	2,479	0	64,825	101.8	-
1977 (S52)	76,342	112.5	72,088	111.2	7,057	79,145	2,493	0	72,088	111.2	-
1978 (S53)	85,828	112.4	80,494	111.7	9,079	89,573	3,131	0	80,494	111.7	-
1979 (S54)	87,940	102.5	82,968	103.1	10,325	93,293	2,476	-	82,968	103.1	-
1980 (S55)	85,883	97.7	80,293	96.8	8,273	88,567	3,536	3	80,296	96.8	-
1981 (S56)	83,605	97.3	76,892	95.8	10,044	86,937	3,778	0	76,892	95.8	-
1982 (S57)	80,056	95.8	72,367	94.1	11,958	84,325	3,239	19	72,386	94.1	-
1983 (S58)	79,402	99.2	69,721	96.3	13,723	83,444	3,289	19	69,740	96.3	-
1984 (S59)	77,403	97.5	70,037	100.5	10,920	80,957	3,949	204	70,241	100.7	-
1985 (S60)	72,213	93.3	67,407	96.2	8,320	75,727	3,810	582	67,990	96.8	-
1986 (S61)	70,416	97.5	68,058	101.0	4,859	72,917	3,083	1,473	69,531	102.3	-
1987 (S62)	74,244	105.4	70,592	103.7	4,346	74,938	3,814	2,936	73,528	105.7	-
1988 (S63)	77,262	104.1	73,893	104.7	5,133	79,026	3,635	3,616	77,509	105.4	-
1989 (H1)	80,077	103.6	75,110	101.6	6,964	82,073	4,001	3,651	78,761	101.6	-
1990 (H2)	86,849	108.5	83,997	111.8	6,243	90,240	4,392	2,289	86,286	109.6	-
1991 (H3)	88,813	102.3	83,757	99.7	8,090	91,847	5,162	1,531	85,287	98.8	-
1992 (H4)	96,212	108.3	81,049	96.8	11,843	92,893	5,026	1,149	82,142	96.3	-
1993 (H5)	94,886	98.6	77,740	95.9	13,697	91,436	4,961	929	78,616	95.7	-
1994 (H6)	97,641	102.9	79,132	101.8	14,995	94,127	4,926	666	79,743	101.4	-
1995 (H7)	97,496	99.9	79,788	100.8	13,389	93,177	4,716	651	80,377	100.8	4,529
1996 (H8)	99,267	101.8	81,929	102.7	12,427	94,356	4,584	619	82,417	102.5	5,042
1997 (H9)	92,558	93.2	76,154	93.0	11,219	87,373	4,852	495	76,573	92.9	4,917
1998 (H10)	82,569	89.2	70,075	92.0	7,558	77,634	5,277	756	70,719	92.4	4,510
1999 (H11)	82,181	99.5	70,438	100.5	7,564	78,001	4,941	1,228	71,515	101.1	4,515
2000 (H12)	82,373	100.2	70,250	99.7	7,477	77,727	5,088	1,286	71,435	99.9	4,499
2001 (H13)	79,119	96.0	66,766	95.0	7,863	74,629	5,439	1,065	67,811	94.9	4,139
2002 (H14)	75,479	95.4	62,740	94.0	8,554	71,294	4,853	774	63,514	93.7	4,771
2003 (H15)	73,508	97.4	58,856	93.8	9,879	68,735	4,397	831	59,687	94.0	5,229
2004 (H16)	71,682	97.5	56,741	96.4	10,373	67,114	3,817	828	57,569	96.5	5,149
2005 (H17)	73,931	103.1	58,152	102.5	10,273	68,425	4,045	937	59,089	102.6	5,278
2006 (H18)	73,170	99.0	57,968	99.7	9,592	67,560	3,959	1,185	58,985	99.8	5,697
2007 (H19)	70,600	96.5	54,575	94.1	10,017	64,592	4,565	938	55,506	94.1	5,401
2008 (H20)	65,895	93.3	49,164	90.1	10,672	59,835	4,419	924	50,087	90.2	6,205
2009 (H21)	58,378	88.6	41,976	85.4	11,054	53,030	4,468	756	42,732	85.3	5,300
2010 (H22)	56,050	96.0	41,040	97.8	9,967	51,007	4,083	574	41,614	97.4	5,428
2011 (H23)	57,579	102.7	41,912	102.1	10,006	51,918	4,212	738	42,650	102.5	5,532
2012 (H24)	59,488	103.3	43,754	104.4	9,632	53,387	4,140	822	44,577	104.5	6,173
2013 (H25)	62,392	104.9	46,953	107.3	8,503	55,455	4,412	752	47,705	107.0	6,665
2014 (H26)	61,139	98.0	45,048	95.9	9,421	54,469	4,580	503	45,551	95.5	6,502
2015 (H27)	59,238	96.9	42,347	94.0	10,583	52,930	4,684	320	42,668	93.7	6,204
2016 (H28)	59,271	100.1	41,497	98.0	11,529	53,027	4,393	280	41,777	97.9	6,536
2017 (H29)	60,360	101.8	41,701	100.5	11,808	53,508	4,189	175	41,876	100.2	7,056
2018 (H30)	60,230	99.8	42,499	101.9	10,371	52,870	4,446	91	42,589	101.7	7,103
2019 (R1)	58,135	96.5	40,948	96.4	10,532	51,480	4,492	22	40,970	96.2	6,609
2020 (R2)	56,053	96.4	38,650	94.4	11,113	49,763	4,332	20	38,670	94.4	6,450
2021 (R3)	55,741	99.4	37,872	98.0	11,484	49,356	4,347	10	37,882	98.0	6,371
2022 (R4)	51,482	92.4	37,265	98.4	8,137	45,402	4,194	16	37,280	98.4	6,233
2023 (R5)	47,177	91.6	34,562	92.7	6,855	41,417	4,469	15	34,577	92.7	5,484
2024 (R6)	45,874	97.2	32,632	94.4	8,207	40,839	4,082	23	32,656	94.4	5,422

(注) 92年度以降の生産は輸出用クリンカ等を含む。95年度より固化材原料他の調査を開始。06年度以降「その他のセメント」を含む。

## 2. 生産動向

### (1) 実数

(単位:千t)

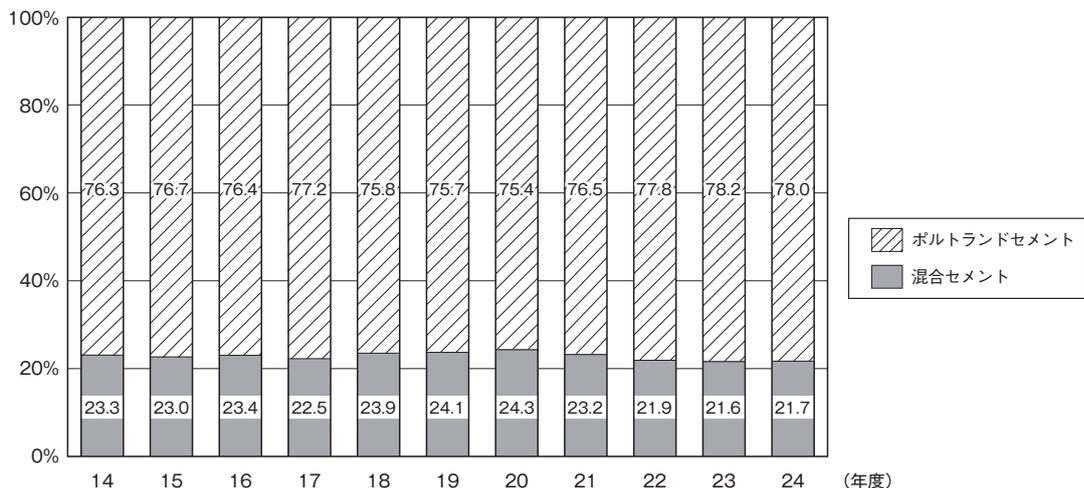
種類	年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ポルトランドセメント	普通	37,617	37,002	38,148	37,921	36,027	33,263	34,298	32,850	30,196	28,387
	早強	2,990	3,057	3,213	3,111	3,146	3,035	3,002	2,915	2,729	2,683
	中庸熱	705	604	801	929	714	825	809	843	793	847
	低熱	188	138	192	265	204	231	225	207	175	165
	耐硫酸塩	6	4	2	2	1	1	1	2	2	1
	その他	1	3	1	1	1	1	3	3	2	1
	小計	41,506	40,808	42,357	42,228	40,094	37,356	38,338	36,820	33,896	32,083
混合セメント	高炉	11,267	11,159	10,821	11,645	11,117	10,835	10,380	9,518	8,614	8,214
	シリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	フライアッシュ	101	115	93	118	73	46	36	33	37	17
	その他	1,046	1,205	1,441	1,532	1,557	1,153	1,207	786	697	692
	小計	12,414	12,480	12,355	13,295	12,748	12,034	11,623	10,337	9,348	8,923
その他のセメント	165	157	158	156	157	158	153	143	143	128	126
計	54,085	53,445	54,871	55,679	52,998	49,548	50,114	47,300	43,371	41,132	
輸出用クリンカ等	5,153	5,826	5,489	4,551	5,136	6,505	5,627	4,182	3,806	4,742	
合計	59,238	59,271	60,360	60,230	58,135	56,053	55,741	51,482	47,177	45,874	

### (2) 前年比

(単位:%)

種類	年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ポルトランドセメント	普通	95.8	98.4	103.1	99.4	95.0	92.3	103.1	95.8	91.9	94.0
	早強	95.2	102.3	105.1	96.8	101.1	96.5	98.9	97.1	93.6	98.3
	中庸熱	104.2	85.8	132.6	115.9	76.9	115.5	98.0	104.3	94.0	106.8
	低熱	99.1	73.6	138.8	138.2	77.1	113.1	97.5	92.1	84.4	94.1
	耐硫酸塩	85.9	63.1	64.7	97.7	44.3	121.4	111.7	125.8	98.2	46.3
	その他	429.9	287.0	27.1	79.4	162.0	75.1	389.7	86.6	51.5	89.2
	小計	95.9	98.3	103.8	99.7	94.9	93.2	102.6	96.0	92.1	94.7
混合セメント	高炉	92.1	99.0	97.0	107.6	95.5	97.5	95.8	91.7	90.5	95.4
	シリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	フライアッシュ	135.7	114.4	81.0	125.7	62.4	62.3	78.5	91.8	111.2	46.0
	その他	113.0	115.2	119.5	106.4	101.6	74.0	104.7	65.1	88.7	99.3
	小計	93.8	100.5	99.0	107.6	95.9	94.4	96.6	88.9	90.4	95.5
その他のセメント	89.9	95.3	101.1	98.3	100.7	101.0	96.4	93.7	89.2	99.1	
計	95.4	98.8	102.7	101.5	95.2	93.5	101.1	94.4	91.7	94.8	
輸出用クリンカ等	115.9	113.0	94.2	82.9	112.9	126.7	86.5	74.3	91.0	124.6	
合計	96.9	100.1	101.8	99.8	96.5	96.4	99.4	92.5	91.6	97.2	

### (3) 種類別セメント生産構成比の推移(除く輸出用クリンカ等)



### 3. 需要部門別販売量

#### (1) 実数

(単位:千t)

年度		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
部門											
	鉄道	5	17	36	59	43	20	19	23	25	30
	電力	65	35	37	75	96	70	53	44	22	29
	セメント製品	5,638	5,652	5,827	5,761	5,649	5,491	5,401	5,103	4,650	4,457
	生コンクリート	30,069	29,221	29,470	30,015	28,751	27,233	26,561	26,118	24,602	23,182
	港湾・空港	82	92	96	92	88	95	81	57	30	32
	道路・橋梁	191	196	171	201	136	149	132	151	148	167
	その他土木	4,116	4,133	3,939	4,207	4,142	3,771	3,802	3,939	3,434	3,165
建築	官公需	114	145	138	165	154	102	96	92	85	93
	民需	526	602	592	576	597	551	575	648	552	512
	計	640	746	730	741	751	653	671	740	637	605
	自家用	11	14	19	25	23	12	12	13	21	34
	その他	1,531	1,391	1,377	1,324	1,270	1,156	1,140	1,076	992	931
	国内計	42,347	41,497	41,701	42,499	40,948	38,650	37,872	37,265	34,562	32,632
	輸出	10,583	11,529	11,808	10,371	10,532	11,113	11,484	8,137	6,855	8,207
	合計	52,930	53,027	53,508	52,870	51,480	49,763	49,356	45,402	41,417	40,839

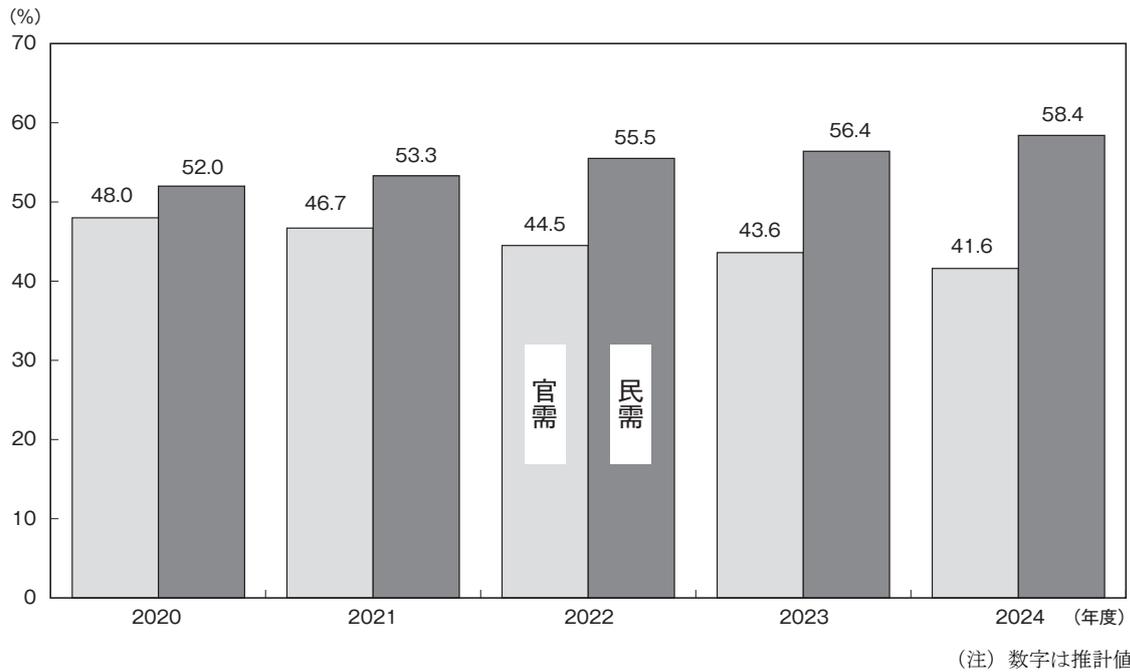
(注)輸入は除く

#### (2) 構成比

(単位:%)

年度		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
部門											
	鉄道	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1
	電力	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
	セメント製品	13.3	13.6	14.0	13.6	13.8	14.2	14.3	13.7	13.5	13.7
	生コンクリート	71.0	70.4	70.7	70.6	70.2	70.5	70.1	70.1	71.2	71.0
	港湾・空港	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
	道路・橋梁	0.5	0.5	0.4	0.5	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5
	その他土木	9.7	10.0	9.4	9.9	10.1	9.8	10.0	10.6	9.9	9.7
建築	官公需	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3
	民需	1.2	1.5	1.4	1.4	1.5	1.4	1.5	1.7	1.6	1.6
	計	1.5	1.8	1.7	1.7	1.8	1.7	1.8	2.0	1.8	1.9
	自家用	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
	その他	3.6	3.4	3.3	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9
	国内計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		(80.0)	(78.3)	(77.9)	(80.4)	(79.5)	(77.7)	(76.7)	(82.1)	(83.4)	(79.9)
	輸出	(20.0)	(21.7)	(22.1)	(19.6)	(20.5)	(22.3)	(23.3)	(17.9)	(16.6)	(20.1)
	合計	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)

#### 4. 国内販売の需要構成比



#### 5. 種別別国内販売量

(単位:千t、%)

種 類	年 度			年 度			年 度			年 度			年 度			
	2020	前 年 比	構 成 比	2021	前 年 比	構 成 比	2022	前 年 比	構 成 比	2023	前 年 比	構 成 比	2024	前 年 比	構 成 比	
ポルトランドセメント	普通	27,251	93.2	70.5	26,737	98.1	70.6	26,897	100.6	72.2	25,246	93.9	73.0	23,526	93.2	72.1
	超・早強	2,262	96.8	5.9	2,229	98.6	5.9	2,086	93.6	5.6	1,962	94.1	5.7	1,951	99.4	6.0
	中庸熱	745	114.3	1.9	731	98.1	1.9	787	107.7	2.1	722	91.7	2.1	782	108.3	2.4
	低熱	232	110.9	0.6	234	101.0	0.6	207	88.5	0.6	182	87.8	0.5	175	95.9	0.5
	耐硫酸塩	1	107.8	0.0	1	102.5	0.0	2	188.2	0.0	2	87.4	0.0	1	41.9	0.0
	その他	1	111.4	0.0	2	201.5	0.0	3	140.3	0.0	1	42.1	0.0	2	126.1	0.0
	計	30,492	94.0	78.9	29,935	98.2	79.0	29,982	100.2	80.5	28,116	93.8	81.3	26,436	94.0	81.0
混合セメント	高炉	7,905	96.6	20.5	7,668	97.0	20.2	7,011	91.4	18.8	6,221	88.7	18.0	6,000	96.4	18.4
	シリカ	0	-	-	0	-	0.0	0	-	-	0	-	-	0	-	-
	フライアッシュ	35	61.7	0.1	36	103.8	0.1	28	76.0	0.1	36	132.0	0.1	15	41.0	0.0
	その他	99	64.7	0.3	104	104.4	0.3	126	121.3	0.3	91	72.3	0.3	78	85.6	0.2
	計	8,039	95.8	20.8	7,808	97.1	20.6	7,165	91.8	19.2	6,349	88.6	18.4	6,093	96.0	18.7
その他のセメント	119	94.5	0.3	128	108.0	0.3	118	91.6	0.3	97	82.7	0.3	103	105.5	0.3	
合 計	38,650	94.4	100.0	37,872	98.0	100.0	37,265	98.4	100.0	34,562	92.7	100.0	32,632	94.4	100.0	

#### 6. 荷姿別国内販売量

(単位:千t、%)

荷姿	年 度		年 度		年 度		年 度		年 度	
	2020	構 成 比	2021	構 成 比	2022	構 成 比	2023	構 成 比	2024	構 成 比
バラ	37,796	97.8	37,071	97.9	36,523	98.0	33,877	98.0	31,993	98.0
袋	854	2.2	801	2.1	742	2.0	685	2.0	640	2.0
計	38,650	100.0	37,872	100.0	37,265	100.0	34,562	100.0	32,632	100.0

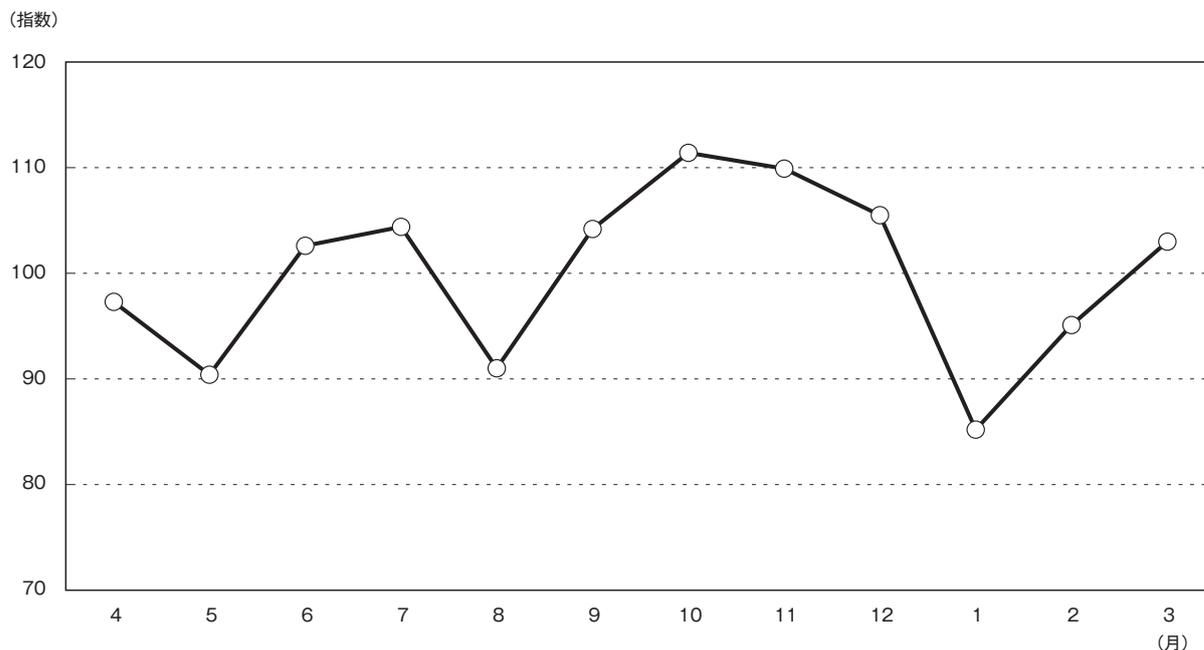
## 7. 都道府県別販売量

(単位:千t、%)

地区	年度 都道府県別	2020			2021			2022			2023			2024			
			前年比	地区比													
北海道	北海道	1,912	101.4	4.9	1,790	93.6	4.7	1,728	96.6	4.6	1,642	95.0	4.8	1,612	98.2	4.9	
東北	青森	360	99.1		395	109.7		331	83.7		280	84.8		258	92.1		
	岩手	529	71.7		409	77.4		395	96.6		272	68.9		279	102.6		
	宮城	859	87.3		764	88.9		711	93.1		571	80.3		513	89.8		
	秋田	356	114.4		397	111.6		476	119.7		444	93.3		322	72.5		
	山形	358	93.1		358	100.0		311	87.0		271	87.1		248	91.4		
	福島	926	95.2		751	81.1		679	90.4		675	99.4		619	91.6		
	計	3,388	90.3	8.8	3,075	90.8	8.1	2,904	94.4	7.8	2,514	86.6	7.3	2,239	89.0	6.9	
関東	一区	埼玉	2,286	97.0		2,271	99.3		2,412	106.2		2,321	96.2		2,164	93.2	
		千葉	1,651	95.3		1,743	105.6		1,614	92.6		1,548	95.9		1,404	90.7	
		東京	2,580	90.7		2,665	103.3		2,656	99.6		2,639	99.4		2,516	95.3	
		神奈川	2,387	96.3		2,343	98.2		2,163	92.3		2,116	97.8		1,983	93.7	
		小計	8,904	94.6	23.0	9,023	101.3	23.8	8,846	98.0	23.7	8,624	97.5	25.0	8,067	93.5	24.7
	二区	茨城	1,287	98.7		1,319	102.5		1,398	105.9		1,203	86.1		1,113	92.5	
		栃木	765	107.4		735	96.1		737	100.4		657	89.2		630	95.8	
		群馬	544	94.1		523	96.1		528	100.9		492	93.3		461	93.6	
		山梨	314	93.5		331	105.6		333	100.7		280	84.0		285	102.0	
		長野	619	115.9		592	95.6		631	106.5		518	82.1		515	99.4	
		小計	3,529	101.9	9.1	3,500	99.2	9.2	3,627	103.6	9.7	3,150	86.9	9.1	3,004	95.4	9.2
	計	12,433	96.6	32.2	12,523	100.7	33.1	12,472	99.6	33.5	11,774	94.4	34.1	11,071	94.0	33.9	
	北陸	一区	富山	310	95.9		318	102.4		307	96.7		275	89.5		273	99.2
石川			326	76.6		315	96.3		274	87.0		250	91.2		237	94.8	
福井			615	78.6		433	70.5		370	85.3		326	88.1		310	95.3	
二区		小計	1,251	81.7	3.2	1,065	85.1	2.8	950	89.2	2.6	850	89.5	2.5	820	96.4	2.5
		新潟	628	91.7	1.6	619	98.5	1.6	556	89.9	1.5	545	98.1	1.6	525	96.3	1.6
		計	1,880	84.8	4.9	1,684	89.6	4.4	1,506	89.4	4.0	1,396	92.6	4.0	1,345	96.4	4.1
東海	岐阜	800	102.2		839	104.9		768	91.5		745	97.0		657	88.3		
	静岡	948	97.4		897	94.6		851	94.9		819	96.2		799	97.6		
	愛知	2,040	89.9		2,022	99.1		2,127	105.2		2,049	96.3		1,909	93.2		
	三重	636	103.3		688	108.2		637	92.6		546	85.6		501	91.8		
	計	4,424	95.3	11.4	4,446	100.5	11.7	4,383	98.6	11.8	4,158	94.9	12.0	3,866	93.0	11.8	
近畿	滋賀	592	100.6		590	99.5		639	108.4		549	85.8		552	100.7		
	京都	585	89.3		630	107.8		603	95.7		547	90.6		564	103.1		
	大阪	2,228	98.7		2,181	97.9		2,269	104.1		2,222	97.9		2,089	94.0		
	兵庫	1,413	97.9		1,406	99.6		1,353	96.2		1,208	89.3		1,181	97.8		
	奈良	192	97.7		198	103.3		196	98.7		201	102.7		184	91.8		
	和歌山	402	92.8		349	86.6		349	100.0		314	90.0		309	98.5		
	計	5,412	97.1	14.0	5,354	98.9	14.1	5,409	101.0	14.5	5,040	93.2	14.6	4,879	96.8	15.0	
四国	徳島	326	89.6		259	79.3		242	93.8		206	84.8		218	106.1		
	香川	301	83.2		291	96.7		323	111.1		291	90.0		257	88.5		
	愛媛	477	92.6		469	98.2		416	88.8		367	88.1		342	93.2		
	高知	341	103.2		323	94.7		276	85.3		235	85.2		224	95.4		
	計	1,445	92.0	3.7	1,341	92.8	3.5	1,258	93.8	3.4	1,098	87.3	3.2	1,041	94.8	3.2	
中国	鳥取	163	86.3		157	95.9		153	97.6		132	86.6		141	106.4		
	島根	266	87.8		242	90.9		223	92.1		227	101.7		220	97.1		
	岡山	600	92.8		618	102.9		607	98.2		565	93.0		534	94.6		
	広島	863	102.0		799	92.5		762	95.4		738	96.8		642	87.1		
	山口	510	90.7		498	97.8		455	91.2		438	96.4		408	93.1		
	計	2,403	94.3	6.2	2,313	96.3	6.1	2,199	95.1	5.9	2,100	95.5	6.1	1,945	92.6	6.0	
九州	福岡	1,581	88.1		1,658	104.9		1,711	103.2		1,536	89.8		1,400	91.1		
	佐賀	306	109.0		317	103.7		356	112.1		227	63.9		249	109.4		
	長崎	463	92.2		464	100.1		446	96.1		416	93.4		363	87.2		
	熊本	738	87.1		754	102.2		845	112.0		658	77.9		683	103.8		
	大分	439	99.1		448	102.0		407	90.9		407	99.9		381	93.7		
	宮崎	350	99.2		350	100.1		328	93.7		299	91.1		317	106.1		
	鹿児島	591	90.5		586	99.1		553	94.4		538	97.2		496	92.3		
	計	4,468	91.7	11.6	4,577	102.4	12.1	4,646	101.5	12.5	4,081	87.8	11.8	3,888	95.3	11.9	
沖縄	沖縄	886	87.7	2.3	768	86.7	2.0	759	98.9	2.0	759	100.0	2.2	745	98.1	2.3	
国内計		38,650	94.4	100.0	37,872	98.0	100.0	37,265	98.4	100.0	34,562	92.7	100.0	32,632	94.4	100.0	
輸入		20	90.0	0.1	10	52.0	0.0	16	151.4	0.0	15	94.9	0.0	23	154.9	0.1	
内需		38,670	94.4		37,882	98.0		37,280	98.4		34,577	92.7		32,656	94.4		

## 8. 国内販売の季節変動（2018～2024年度 連環比率法による）

### (1) 季節変動指数



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
指数	97.3	90.4	102.6	104.4	91.0	104.2	111.4	109.9	105.5	85.2	95.1	103.0

(注) 経済活動の季節性から、時系列データには一定の季節的な変動（年度初めは販売量は少ないが、年度末は多いなど）が見られる場合が多い。季節調整は、このような季節的な変動を除去するための手法で、この表はその一種である連環比率法によって季節変動指数を算出したもの。  
各月ごとに販売実績を季節変動指数で除すと、季節変動が除去され、季節変動の影響を取り除いた販売量を知ることができる。

### (2) 地区別季節変動指数

地区 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
北海道	83.8	92.0	118.2	131.9	111.3	130.4	134.8	118.6	89.5	56.6	64.6	68.3
東北	94.2	91.0	109.0	110.8	92.9	112.5	120.4	114.8	100.5	74.4	85.7	93.8
関東一区	98.8	90.6	103.5	105.3	90.5	101.9	107.9	105.5	105.6	87.8	96.5	106.1
関東二区	98.6	90.5	100.9	101.6	88.8	100.8	110.3	110.8	107.6	87.7	97.6	104.8
北陸	97.3	94.4	110.3	112.0	96.6	109.4	117.9	114.0	98.0	70.0	82.5	97.6
東海	97.2	89.6	101.0	101.7	88.6	102.1	109.0	109.8	107.4	90.4	99.5	103.7
近畿	99.8	91.4	99.5	101.5	90.4	100.7	106.5	105.5	107.7	89.3	99.5	108.2
四国	93.0	87.2	99.1	98.0	86.1	100.6	109.3	112.8	111.9	95.9	102.3	103.8
中国	99.2	90.3	98.9	97.4	86.2	101.2	110.7	111.0	107.5	88.4	99.7	109.5
九州	98.7	91.1	97.6	97.5	87.8	100.9	110.4	109.3	108.8	89.9	101.1	106.9
沖縄	101.8	89.2	92.5	103.8	96.5	97.6	106.2	107.9	106.9	91.0	98.5	108.1

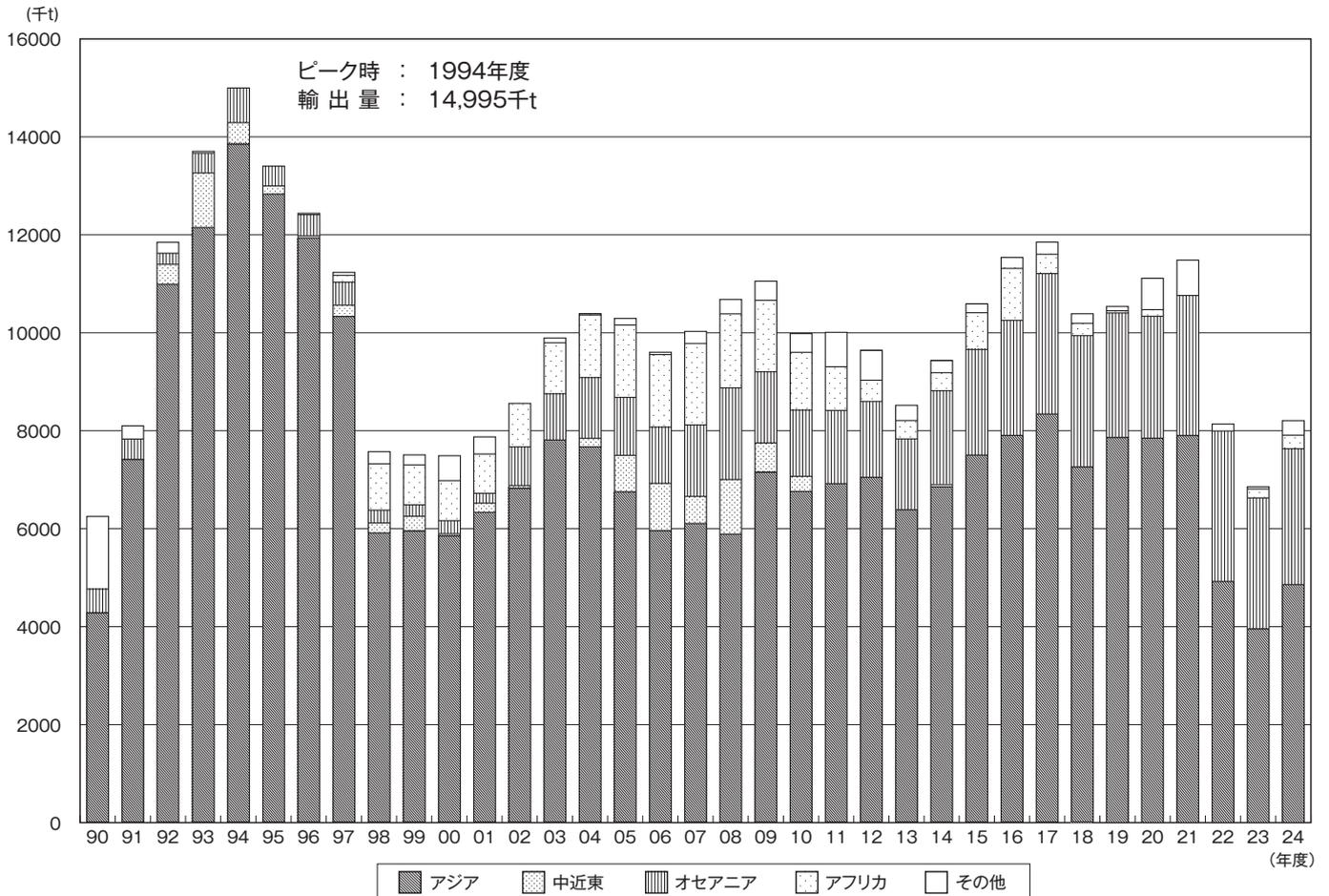
## 9. 輸 出

### (1) 主要仕向地別輸出力

(単位：千t、%)

年度		1990	構成比	2000	構成比	2005	構成比	2010	構成比	2015	構成比	2020	構成比	2023	構成比	2024	構成比
地域・仕向地																	
アジア	中国	—	—	1,105	14.8	1,028	10.0	715	7.2	51	0.5	3,259	29.3	—	—	70	0.8
	韓国	2	0.0	—	—	1,594	15.5	638	6.4	980	9.3	469	4.2	441	6.4	522	6.4
	台湾	122	2.0	2,163	28.9	289	2.8	240	2.4	273	2.6	244	2.2	349	5.1	398	4.8
	香港	2,063	33.1	861	11.5	1,053	10.3	723	7.3	1,145	10.8	1,500	13.5	870	12.7	478	5.8
	シンガポール	1,105	17.7	1,218	16.3	1,286	12.5	2,266	22.7	3,619	34.2	1,627	14.6	1,305	19.1	1,796	21.9
	その他	981	15.7	497	6.7	1,492	14.5	2,165	21.7	1,423	13.4	750	6.8	989	14.4	1,597	19.5
	計	4,273	68.5	5,844	78.2	6,742	65.6	6,747	67.7	7,491	70.8	7,849	70.6	3,954	57.7	4,861	59.2
中近東		—	—	44	0.6	748	7.3	308	3.1	—	—	—	—	—	—	—	—
オセアニア		488	7.8	262	3.5	1,180	11.5	1,353	13.6	2,157	20.4	2,489	22.4	2,675	39.0	2,771	33.8
アフリカ		—	—	817	10.9	1,479	14.4	1,184	11.9	755	7.1	135	1.2	182	2.7	275	3.4
その他		1,482	23.7	510	6.8	124	1.2	375	3.7	180	1.7	640	5.8	44	0.6	300	3.6
合 計		6,243	100.0	7,477	100.0	10,273	100.0	9,967	100.0	10,583	100.0	11,113	100.0	6,855	100.0	8,207	100.0
前年比		89.6		98.8		99.0		90.2		112.3		105.5		84.2		119.7	
荷姿別	クリンカ	2,582	41.4	2,765	37.0	3,928	38.2	4,904	49.2	4,782	45.2	6,149	55.3	3,127	45.6	4,011	48.9
	バラ	3,659	58.6	4,712	63.0	6,345	61.8	5,063	50.8	5,801	54.8	4,964	44.7	3,728	54.4	4,196	51.1
	袋	2	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

### (2) 地域別輸出力の推移



## 10. 輸 入

### (1) 国別輸入量

(単位:千t、%)

年度 国名	2020			2021			2022			2023			2024		
	前年比	構成比		前年比	構成比		前年比	構成比		前年比	構成比		前年比	構成比	
韓国	20	90.0	100.0	10	52.0	100.0	16	151.4	100.0	15	94.9	100.0	23	150.2	97.0
中国	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	3.0
合計	20	90.0	100.0	10	52.0	100.0	16	151.4	100.0	15	94.9	100.0	23	154.9	100.0

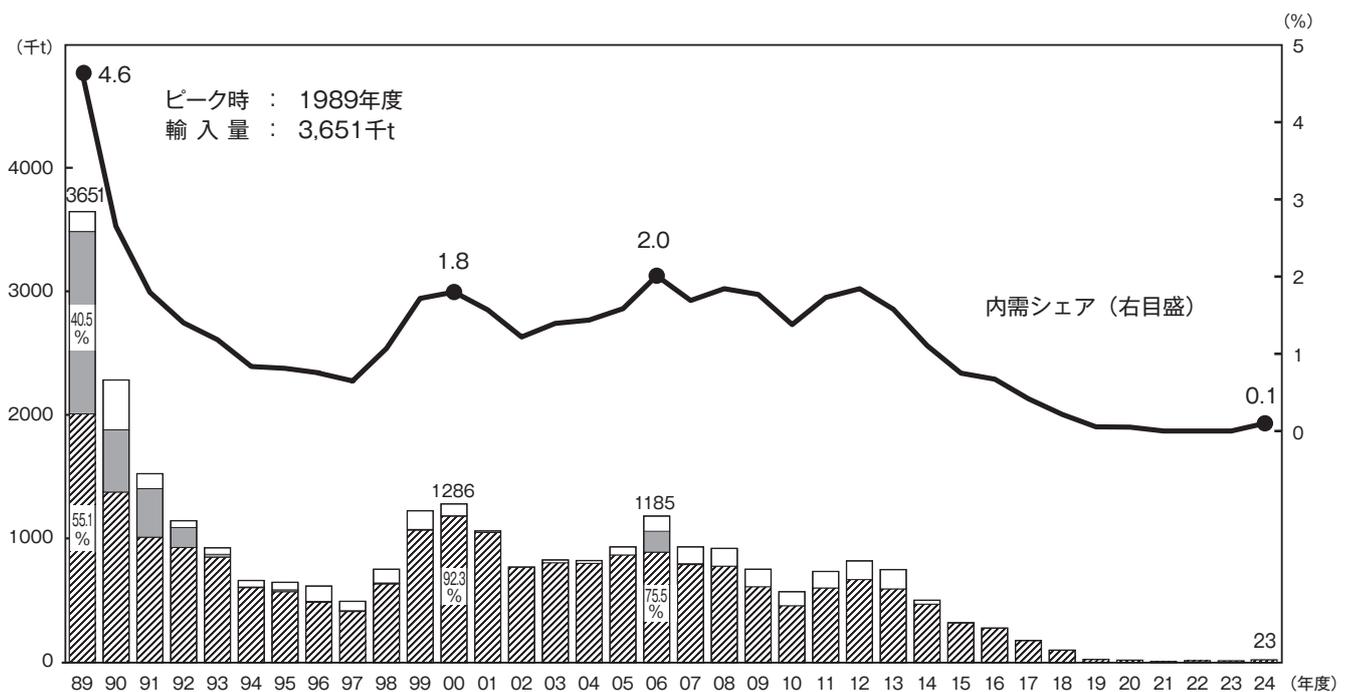
出典：貿易統計（財務省）

### (2) 揚地別輸入量

(単位:千t、%)

年度 地区	2020			2021			2022			2023			2024			
	前年比	構成比		前年比	構成比		前年比	構成比		前年比	構成比		前年比	構成比		
北海道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2.5	
東北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
関東	一区	20	90.0	100.0	10	52.0	100.0	16	151.4	100.0	15	94.9	100.0	23	150.4	97.1
	二区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
北陸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
東海	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
近畿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
四国	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
中国	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
九州	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	0.4	
沖縄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	20	90.0	100.0	10	52.0	100.0	16	151.4	100.0	15	94.9	100.0	23	154.9	100.0	

### (3) 国別輸入量の推移



(注) グラフ中の%は構成比

斜線 韓国    灰色 台湾    白 中国など    黒線 内需シェア

## IV. 流 通

### 1. 都道府県別工場外貯蔵出荷設備（2025年4月1日現在）

（単位：t）

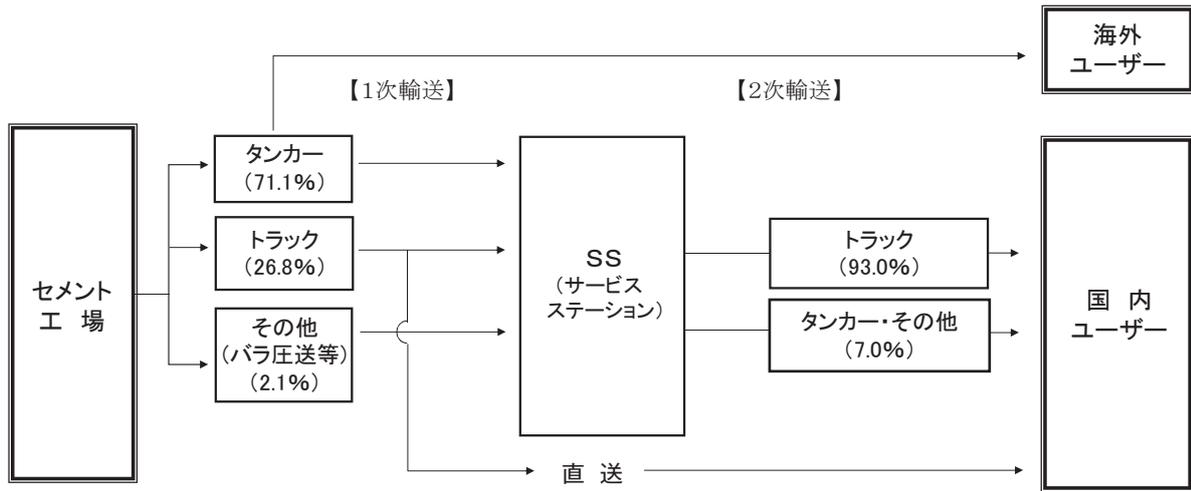
地区	都道府県	臨海		内陸		合計		
		基地数	貯蔵能力	基地数	貯蔵能力	基地数	貯蔵能力	
北海道	北海道	19	321,300	2	4,450	21	325,750	
東北	青森	8	102,450	1	3,200	9	105,650	
	岩手			1	1,550	1	1,550	
	宮城	5	125,500	1	1,000	6	126,500	
	秋田	4	96,800			4	96,800	
	山形	3	40,300			3	40,300	
	福島	5	120,730	5	9,000	10	129,730	
	計	25	485,780	8	14,750	33	500,530	
関東	一区	埼玉		5	44,150	5	44,150	
		千葉	8	167,750	1	390	9	168,140
		東京	5	161,300			5	161,300
		神奈川	8	208,100			8	208,100
		小計	21	537,150	6	44,540	27	581,690
	二区	茨城	1	10,000	2	11,500	3	21,500
		栃木			3	9,500	3	9,500
		群馬			5	34,400	5	34,400
		山梨			3	10,900	3	10,900
		長野			10	41,800	10	41,800
	小計	1	10,000	23	108,100	24	118,100	
計	22	547,150	29	152,640	51	699,790		
北陸	新潟	11	135,600	2	8,000	13	143,600	
	富山	2	26,100	1	8,100	3	34,200	
	石川	3	73,150	1	10,800	4	83,950	
	福井	2	22,000			2	22,000	
	計	18	256,850	4	26,900	22	283,750	
東海	岐阜			5	15,500	5	15,500	
	静岡	6	134,700	2	12,900	8	147,600	
	愛知	9	183,900	4	4,380	13	188,280	
	三重	3	66,100			3	66,100	
	計	18	384,700	11	32,780	29	417,480	
近畿	滋賀			1	1,800	1	1,800	
	京都	2	29,000	1	800	3	29,800	
	大阪	11	206,400			11	206,400	
	兵庫	16	148,280	1	3,500	17	151,780	
	奈良							
	和歌山	8	71,600	1	3,000	9	74,600	
	計	37	455,280	4	9,100	41	464,380	
四国	徳島	7	36,700			7	36,700	
	香川	9	66,200			9	66,200	
	愛媛	11	62,650	1	4,000	12	66,650	
	高知	5	26,000	1	7,000	6	33,000	
	計	32	191,550	2	11,000	34	202,550	
中国	鳥取	5	59,000			5	59,000	
	島根	6	27,700			6	27,700	
	岡山	6	57,200	1	3,000	7	60,200	
	広島	13	99,800			13	99,800	
	山口							
	計	30	243,700	1	3,000	31	246,700	
九州	福岡	5	66,000	1	30,600	6	96,600	
	佐賀	5	53,000			5	53,000	
	長崎	12	33,350	1	3,000	13	36,350	
	熊本	5	62,800			5	62,800	
	大分	4	25,500			4	25,500	
	宮崎	7	47,250			7	47,250	
	鹿児島	18	105,800			18	105,800	
	計	56	393,700	2	33,600	58	427,300	
沖縄	沖縄	10	48,700	1	600	11	49,300	
合計		267	3,328,710	64	288,820	331	3,617,530	

## 2. 輸送機関別出荷量

(単位:千t、%)

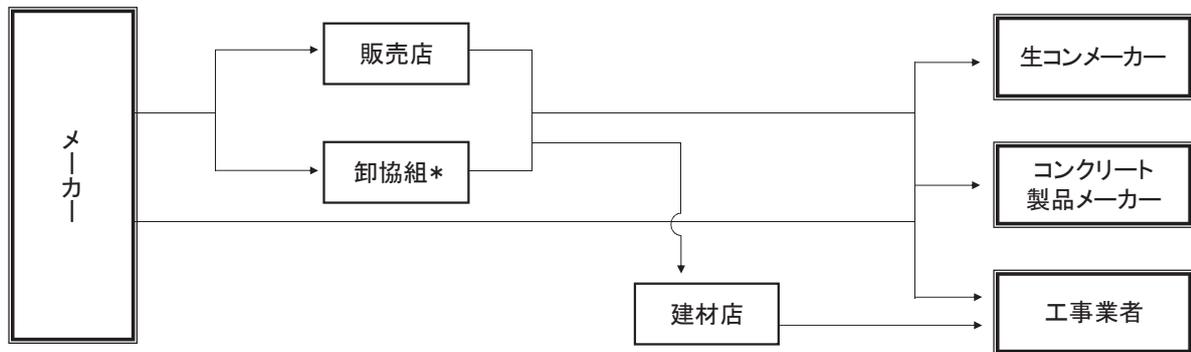
輸送機関		年度		2020		2021		2022		2023		2024	
					構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
一次輸送	トラック	バラ	15,121	27.0	14,823	26.6	14,074	27.4	13,622	29.1	12,105	26.4	
		袋	207	0.4	192	0.3	174	0.3	159	0.3	144	0.3	
	タンカー	バラ	39,424	70.3	39,383	70.8	36,098	70.4	32,561	69.5	32,563	71.1	
		袋	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	その他	バラ	1,352	2.4	1,254	2.3	950	1.9	517	1.1	976	2.1	
		袋	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	計	バラ	55,897	99.6	55,461	99.7	51,122	99.7	46,700	99.7	45,644	99.7	
		袋	207	0.4	192	0.3	174	0.3	159	0.3	144	0.3	
		計	56,104	100.0	55,652	100.0	51,296	100.0	46,859	100.0	45,789	100.0	
二次輸送	トラック	バラ	30,229	90.3	29,159	90.3	29,618	92.3	27,415	90.4	24,428	90.7	
		袋	862	2.6	819	2.5	764	2.4	698	2.3	625	2.3	
	タンカー	バラ	1,870	5.6	1,793	5.6	1,167	3.6	1,604	5.3	1,326	4.9	
		袋	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	その他	バラ	505	1.5	510	1.6	547	1.7	623	2.1	550	2.0	
		袋	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	計	バラ	32,603	97.4	31,463	97.5	31,331	97.6	29,642	97.7	26,304	97.7	
		袋	862	2.6	819	2.5	764	2.4	698	2.3	626	2.3	
		計	33,464	100.0	32,281	100.0	32,096	100.0	30,340	100.0	26,930	100.0	
一次・二次輸送計	トラック	バラ	45,350	50.6	43,982	50.0	43,692	52.4	41,037	53.2	36,533	50.2	
		袋	1,069	1.2	1,010	1.1	938	1.1	857	1.1	770	1.1	
	タンカー	バラ	41,294	46.1	41,177	46.8	37,266	44.7	34,166	44.3	33,889	46.6	
		袋	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	その他	バラ	1,857	2.1	1,764	2.0	1,496	1.8	1,140	1.5	1,526	2.1	
		袋	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	合計	バラ	88,500	98.8	86,923	98.9	82,454	98.9	76,342	98.9	71,948	98.9	
		袋	1,069	1.2	1,010	1.1	938	1.1	857	1.1	770	1.1	
		計	89,569	100.0	87,934	100.0	83,392	100.0	77,199	100.0	72,718	100.0	

(1) 物流図



(注) 図中の数字は構成比(2024年度実績)

(2) 商流図



\*卸協組とは袋セメントを取り扱う販売店の協同組合

3. 輸送機関保有状況

輸送機関		年	2021	2022	2023	2024	2025
タンカー	保有隻数		120	118	119	119	114
	積載量(千t)		552	525	527	527	507
トラック (バラ積)	保有台数	単車	3,459	3,383	3,318	3,204	3,238
		トレーラ	1,094	1,069	1,062	1,078	1,020
		合計	4,553	4,452	4,380	4,282	4,258
私有貨車	保有車両数		95	95	66	67	64
SS	臨海地区	SS数	270	269	269	268	267
		貯蔵能力(t)	3,354,310	3,345,310	3,347,310	3,343,910	3,328,710
	内陸地区	SS数	63	64	64	65	64
		貯蔵能力(t)	286,420	288,720	288,320	291,820	288,820
	合計	SS数	333	333	333	333	331
		貯蔵能力(t)	3,640,730	3,634,030	3,635,630	3,635,730	3,617,530

(注) 1. 各年4月1日現在

2. SS(サービスステーション):工場外出荷設備

## V. 原料、エネルギー

### 1. 原料、エネルギー消費量及び原単位

項目	年度	単位	2019		2020		2021		2022		2023		2024		
			消費量	原単位											
原 料	クリンカ製造	石灰石類	千t	60,961	1,199	58,957	1,201	58,794	1,200	54,360	1,206	49,930	1,196	48,520	1,196
		粘土類	千t	12,787	225	12,195	222	12,217	226	11,238	225	10,442	227	9,815	219
		珪石類	千t	3,704	72	3,698	75	3,497	71	3,172	70	2,976	71	2,904	71
		鉄原料	千t	1,560	28	1,485	27	1,547	29	1,477	30	1,395	30	1,435	32
		その他	千t	1	0	1	0	2	0	1	0	3	0	2	0
		小計	千t	79,013	1,524	76,336	1,525	76,056	1,526	70,248	1,531	64,747	1,523	62,697	1,518
	石こう	千t	2,029	39	1,920	39	1,946	39	1,725	37	1,581	37	1,539	38	
	合計	千t	81,041	1,562	78,255	1,564	78,002	1,565	71,973	1,568	66,327	1,560	64,236	1,556	

熱 エ ネ ル ギ ー	品 目 別	石 炭	千t	6,172		6,059		5,910		5,285		4,584		4,557	
		石油コークス	千t	801		736		749		730		809		787	
		重 油	千kl	33		37		40		36		37		30	
		そ の 他	千kl	1,009		996		984		983		1,125		1,153	
		合計(石炭換算)	千t	8,680		8,446		8,314		7,600		7,194		7,182	
	用 途 別	セメント製造用(石炭換算)	千t	6,474	111.7	6,294	112.6	6,241	112.3	5,761	112.2	5,549	118.0	5,436	118.8
		発電用(石炭換算)	千t	2,206		2,152		2,073		1,839		1,644		1,745	
		合計(石炭換算)	千t	8,680		8,446		8,314		7,600		7,194		7,182	

電 力 エ ネ ル ギ ー	供 給 別	購入電力	百万kWh	2,331		2,218		2,290		2,340		2,296		2,045	
		自家発電	百万kWh	4,185		4,037		3,977		3,637		3,277		3,368	
		計	百万kWh	6,515		6,255		6,267		5,978		5,573		5,414	
	用 途 別	セメント製造用	百万kWh	6,189	106.8	5,947	106.4	5,955	107.1	5,620	109.5	5,248	111.6	5,086	111.2
		セメント製造部門以外	百万kWh	326		308		312		357		325		328	
		計	百万kWh	6,515		6,255		6,267		5,978		5,573		5,414	

(注) 1. 本表には「その他のセメント」のデータは含まれていない

#### 2. 原料

消費量は水分を含む値、原単位は水分を除いた値で算出

#### 3. 熱エネルギー

- ①石炭にはセメント製造用原料も含まれている
- ②「その他」は廃油、廃タイヤ、廃プラスチック、木くず等のエネルギー代替廃棄物を重油換算した値である
- ③石炭換算は、石炭、石油コークス、重油、その他を発熱量 25.95MJ/kgの石炭に換算し合計した値である
- ④発電用は売電用に使用した分も含む
- ⑤セメント製造用熱エネルギー原単位は、エネルギー代替廃棄物を含む値である
- ⑥発電用(石炭換算)には都市ガスも含まれている

#### 4. 電力エネルギー

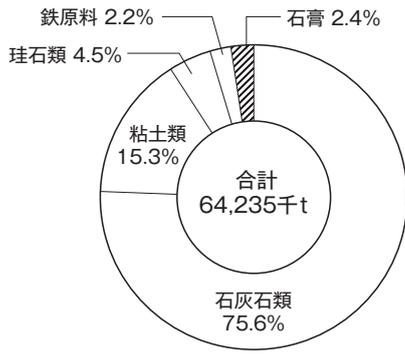
- ①自家発電量は売電分を除いた値である
- ②電力エネルギー原単位は使用ベースで算出している

#### 5. 単位

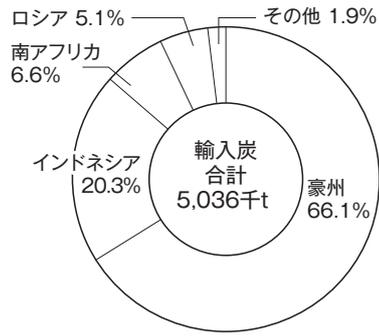
		消費量	原単位
原 料		千t	kg/t
熱エネルギー	石 炭	千t	
	石油コークス	千t	
	重 油	千kl	
	そ の 他	千kl	
	合 計	千t	kg/t
電力エネルギー		百万kWh	kWh/t

## 2. 原料、エネルギーの構成図（2024年度）

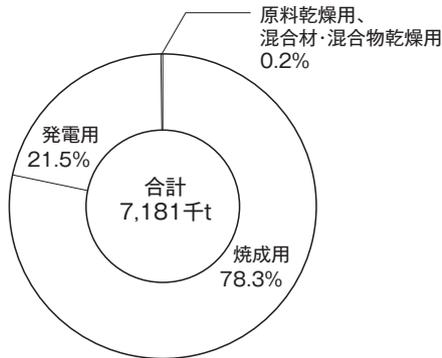
(1) 種類別原料消費量構成比



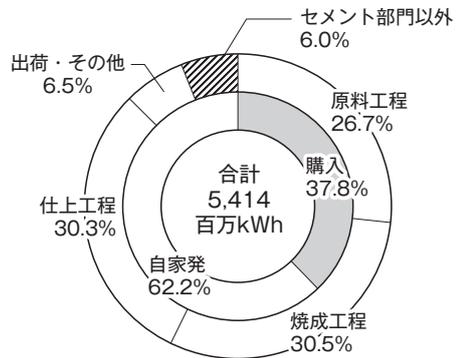
(2) 国別石炭入着量構成比



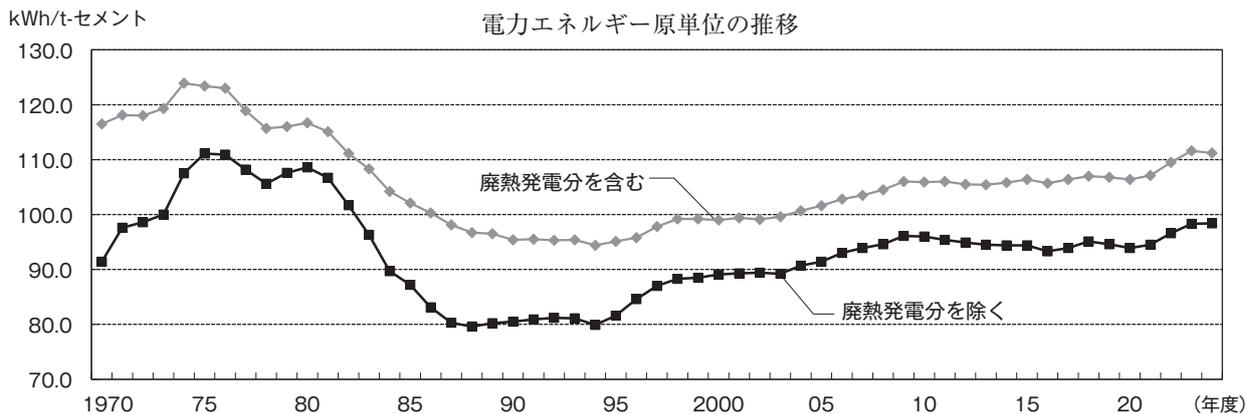
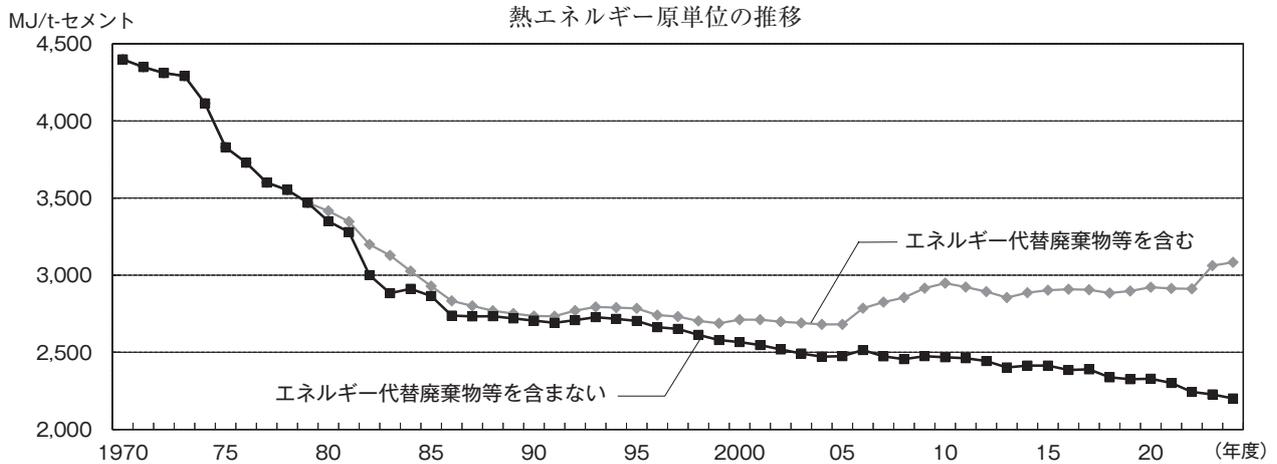
(3) 用途別熱エネルギー消費量構成比



(4) 部門別電力エネルギー消費量構成比



## 3. 熱エネルギー原単位、電力エネルギー原単位の推移



## VI. 生産性

### 1. 生産性

(単位:生産量 千t、労働者 人、前年比 %)

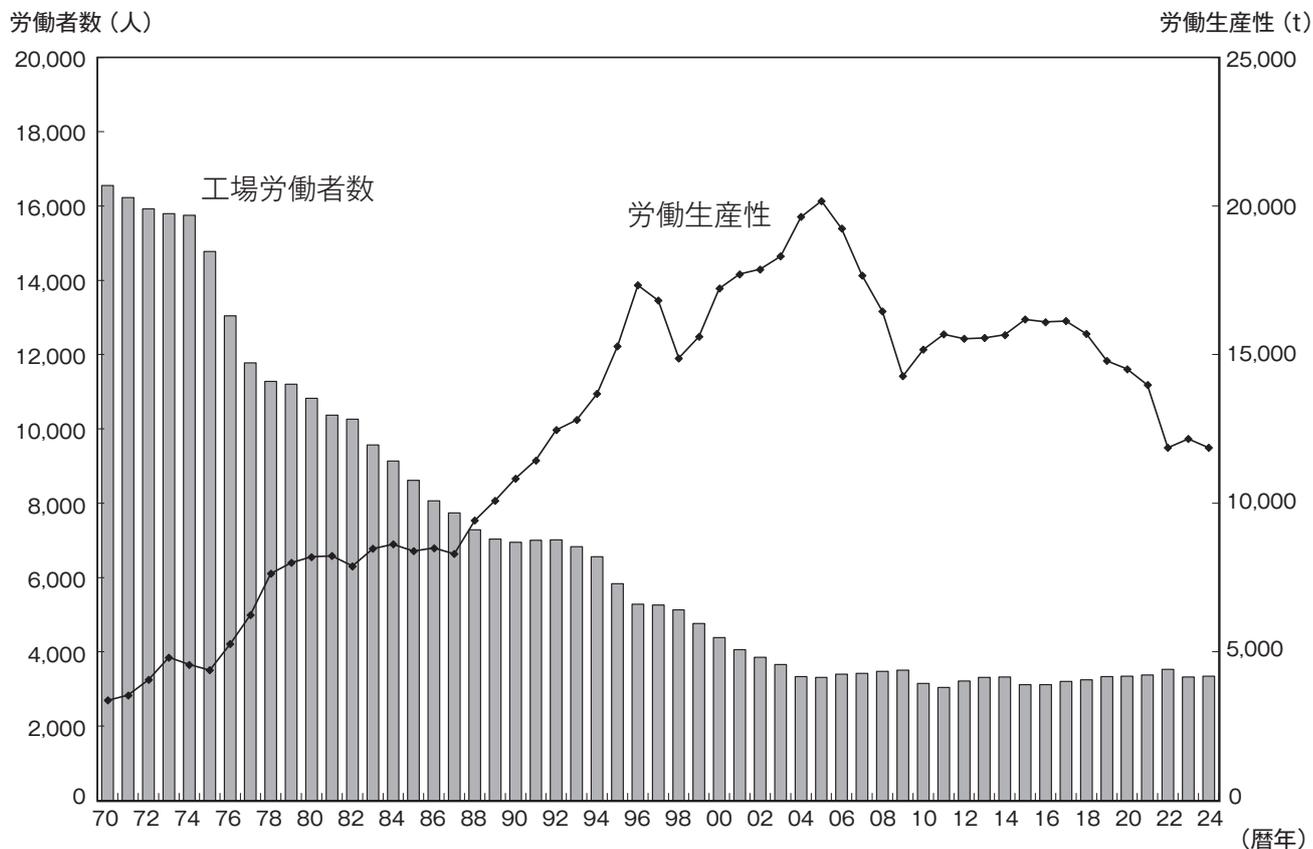
項目 暦年	クリンカ 生産量 (A)	工場			キルン				労働者		
		工場数 (B)	1工場当たり 生産量 (A)/(B)	前年比	在籍 キルン数	稼働 キルン数 (C)	稼働1キルン 当たり生産量 (A)/(C)	前年比	工場 労働者数 (D)	労働生産性 (A)/(D)	前年比
1990	75,288	41	1,836	106.0	81	80	941	101.3	6,949	10,834	107.4
2000	75,573	36	2,099	110.3	74	69	1,095	104.7	4,387	17,227	110.4
2010	47,782	32	1,493	95.4	63	57	838	95.4	3,149	15,174	106.3
2018	50,925	30	1,698	101.6	56	51	999	101.6	3,244	15,698	97.5
2019	49,372	30	1,646	97.0	56	51	968	97.0	3,338	14,791	94.2
2020	48,568	30	1,619	98.4	56	50	971	100.3	3,346	14,515	98.1
2021	47,138	30	1,571	97.1	56	50	943	97.1	3,372	13,979	96.3
2022	41,889	30	1,396	88.9	56	50	838	88.9	3,530	11,867	84.9
2023	40,455	30	1,349	96.6	56	47	861	102.7	3,324	12,171	102.6
2024	39,669	28	1,417	105.1	55	47	844	98.1	3,342	11,870	97.5

(注) 1. 数値はクリンカー貫生産工場(エコセメント用を除く)

2. キルン数は年度末時点

3. クリンカ生産量は暦年度

#### (1) 工場労働者数と労働生産性の推移



## VII. 関連製品

### 1. 生コンクリート出荷量

(単位:千m<sup>3</sup>、%)

項目	2020			2021			2022			2023			2024		
	前年比	構成比		前年比	構成比		前年比	構成比		前年比	構成比		前年比	構成比	
官公需	29,753	96.9	38.1	27,376	92.0	36.0	24,476	89.4	32.9	22,623	92.4	32.2	19,311	85.4	29.4
民 需	48,427	94.5	61.9	48,723	100.6	64.0	49,976	102.6	67.1	47,559	95.2	67.8	46,382	97.5	70.6
合 計	78,180	95.4	100.0	76,099	97.3	100.0	74,452	97.8	100.0	70,182	94.3	100.0	65,693	93.6	100.0

出所: 全国生コンクリート工業組合連合会

### 2. 地区別生コンクリート工場数

(単位: 構成比%)

地区	2020		2021		2022		2023		2024		2025		
	構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		
北海道	303	9.3	302	9.4	298	9.4	298	9.7	295	9.7	289	9.6	
東北	306	9.4	304	9.5	293	9.3	290	9.5	284	9.3	277	9.2	
関東	一区	507	15.5	469	14.6	468	14.8	394	12.9	401	13.2	388	12.9
	二区	276	8.5	274	8.6	264	8.4	264	8.6	262	8.6	261	8.7
	計	783	24.0	743	23.2	732	23.2	658	21.5	663	21.7	649	21.6
北陸	196	6.0	194	6.1	193	6.1	189	6.2	188	6.2	186	6.2	
東海	326	10.0	322	10.0	312	9.9	308	10.1	307	10.1	303	10.1	
近畿	332	10.2	328	10.2	328	10.4	327	10.7	327	10.7	325	10.8	
四国	169	5.2	167	5.2	166	5.3	164	5.4	160	5.2	160	5.3	
中国	249	7.6	248	7.7	242	7.7	238	7.8	236	7.7	229	7.6	
九州	519	15.9	513	16.0	510	16.2	506	16.5	506	16.6	506	16.8	
沖縄	83	2.5	83	2.6	83	2.6	83	2.7	83	2.7	83	2.8	
計	3,266	100.0	3,204	100.0	3,157	100.0	3,061	100.0	3,049	100.0	3,007	100.0	
会社数	2,963		2,907		2,870		2,778		2,770		2,733		

出所: 全国生コンクリート工業組合連合会

(注)1. 各年 3月31日現在

2. ドライ工場、自家用工場を除く

### 3. セメント・コンクリート製品生産量

(前年比:%)

製 品		年 度		2020		2021		2022		2023		2024	
					前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
遠心力鉄筋 コンクリート 製品	管	(千t)	145	90.3	125	86.0	111	88.8	104	94.3	98	93.5	
	ポール	(千t)	450	97.3	433	96.2	357	82.4	359	100.8	338	94.1	
	パイル	(千t)	1,373	108.0	1,370	99.7	1,494	109.1	1,222	81.8	1,172	95.9	
空洞コンクリート ブロック		(千個)	63,792	99.5	58,825	92.2	57,013	96.9	56,534	99.2	55,197	97.6	
護岸用コンクリート ブロック		(千t)	503	85.2	464	92.3	387	83.5	378	97.6	304	80.4	
道路用コンクリート 製品		(千t)	2,168	95.4	1,896	87.5	1,757	92.6	1,646	93.7	1,579	95.9	
プレストレスト コンクリート製品		(千t)	758	115.3	689	90.9	547	79.4	547	99.9	567	103.7	
木毛・木片セメント板		(千枚)	23,840	115.5	26,788	112.4	26,093	97.4	24,539	94.0	24,409	99.5	
気泡コンクリート製品		(千m <sup>3</sup> )	1,287	85.9	1,233	95.8	1,262	102.4	1,250	99.1	1,244	99.5	
コンクリート系 プレハブ建築用パネル		(千m <sup>2</sup> )	619	124.9	580	93.6	565	97.5	539	95.3	639	118.6	
セメント系固化材		(千t)	7,688	97.1	7,835	101.9	7,633	97.4	7,113	93.2	7,065	99.3	

出典:「経済産業省生産動態統計」(経済産業省)、セメント系固化材はセメント協会

(注) セメント系固化材は販売量を示す

## VIII. 市 況

### 1. 主要都市のセメント価格(普通ポルトランドセメント)

(単位:バラ 円/t、袋 円/25kg)

荷姿	都市名	札幌	仙台	東京	金沢	名古屋	大阪	高松	広島	福岡	那覇
	年度										
バ ラ	2015	9,800	11,100	10,500	11,100	10,100	9,000	10,100	11,200	10,300	12,000
	2016	9,800	11,100	10,500	10,700	10,100	9,000	10,100	11,200	10,300	12,100
	2017	9,800	11,100	10,500	10,600	10,100	9,000	10,100	11,200	10,300	12,300
	2018	9,800	11,100	10,700	10,600	10,200	9,200	10,300	11,300	10,500	12,600
	2019	10,200	11,400	11,000	10,700	10,400	9,500	10,600	11,500	10,800	12,800
	2020	10,300	11,400	11,000	10,800	10,400	9,600	10,600	11,500	10,800	12,800
	2021	10,300	11,400	11,000	10,800	10,400	9,900	10,600	11,500	10,800	12,800
	2022	11,600	13,100	12,400	12,100	11,700	11,600	12,100	12,800	12,000	14,400
	2023	15,300	15,800	15,800	15,300	15,200	14,700	15,400	16,300	14,800	17,800
	2024	15,300	16,400	16,000	15,800	15,400	14,900	15,600	16,500	15,800	17,800
袋	2015	510	490	440	540	460	390	500	470	470	440
	2016	510	490	440	540	460	390	500	470	470	440
	2017	510	490	440	540	460	390	500	470	470	440
	2018	510	490	440	540	460	390	500	470	470	450
	2019	510	490	440	540	460	390	500	470	470	460
	2020	510	490	440	540	460	390	500	470	470	460
	2021	510	490	440	540	460	390	500	470	470	460
	2022	520	520	470	570	470	400	510	500	480	490
	2023	620	580	520	620	540	500	550	520	520	560
	2024	630	640	600	700	630	540	550	570	550	600

出典:「建設物価」(一般財団法人建設物価調査会)

(注) 各月価格の単純平均値

## 2. 主要資材価格

製 品		年 度									
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
セメント	(円/t)	10,500	10,500	10,500	10,700	11,000	11,000	11,000	12,400	15,800	16,000
生コン	(円/m <sup>3</sup> )	13,000	13,000	13,080	13,480	13,930	14,090	14,580	16,370	19,130	20,720
C重油	(円/ℓ)	42.5	37.6	46.6	54.2	52.8	40.3	63.8	72.8	74.8	74.8
一般炭 (輸入)	(円/t)	9,090	8,750	11,380	13,270	11,020	8,380	17,740	48,570	28,020	22,980
クラフト紙	(円/kg)	134	134	134	139	139	139	139	164	189	189
H形鋼	(円/t)	74,920	68,170	76,080	85,170	83,750	76,250	100,250	121,420	121,250	118,580
異形棒鋼	(円/t)	54,170	50,420	61,250	72,420	69,750	67,580	90,330	116,330	115,000	111,170
フロート板ガラス	(円/m <sup>2</sup> )	1,200	1,200	1,200	1,200	1,220	1,260	1,300	1,520	2,140	2,270
ストレート アスファルト	(円/t)	73,500	60,750	70,250	82,500	79,250	67,750	87,250	112,080	100,460	111,330

出典：「建設物価」(一般財団法人建設物価調査会)

(注) 価格は年度単純平均、税抜き、基準：東京

セメント：普通ポルトランドセメント、バラ

生コン：呼び強度18N/mm<sup>2</sup>、スランブ18cm、粗骨材25mm

C重油：陸上、HS、ローリー(～2019年12月)、陸上、硫黄分2.5%以下、ローリー(2020年1月～)

一般炭：出典は財務省貿易統計(通関ベース・CIF価格)

クラフト紙：重袋用クラフト紙、セメント用巻き取り価格

H形鋼：細幅 高200×幅100×厚5.5×厚8mm

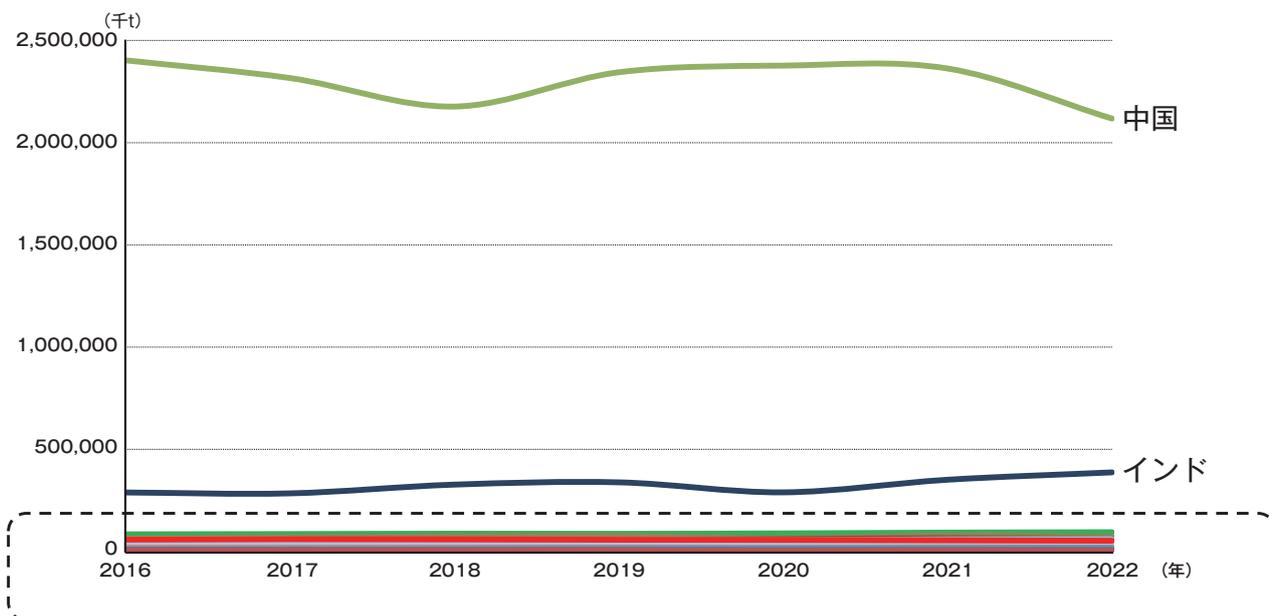
異形棒鋼：SD295A・呼び径D16

フロート板ガラス：FL・5、2.18m<sup>2</sup>以下(特寸)

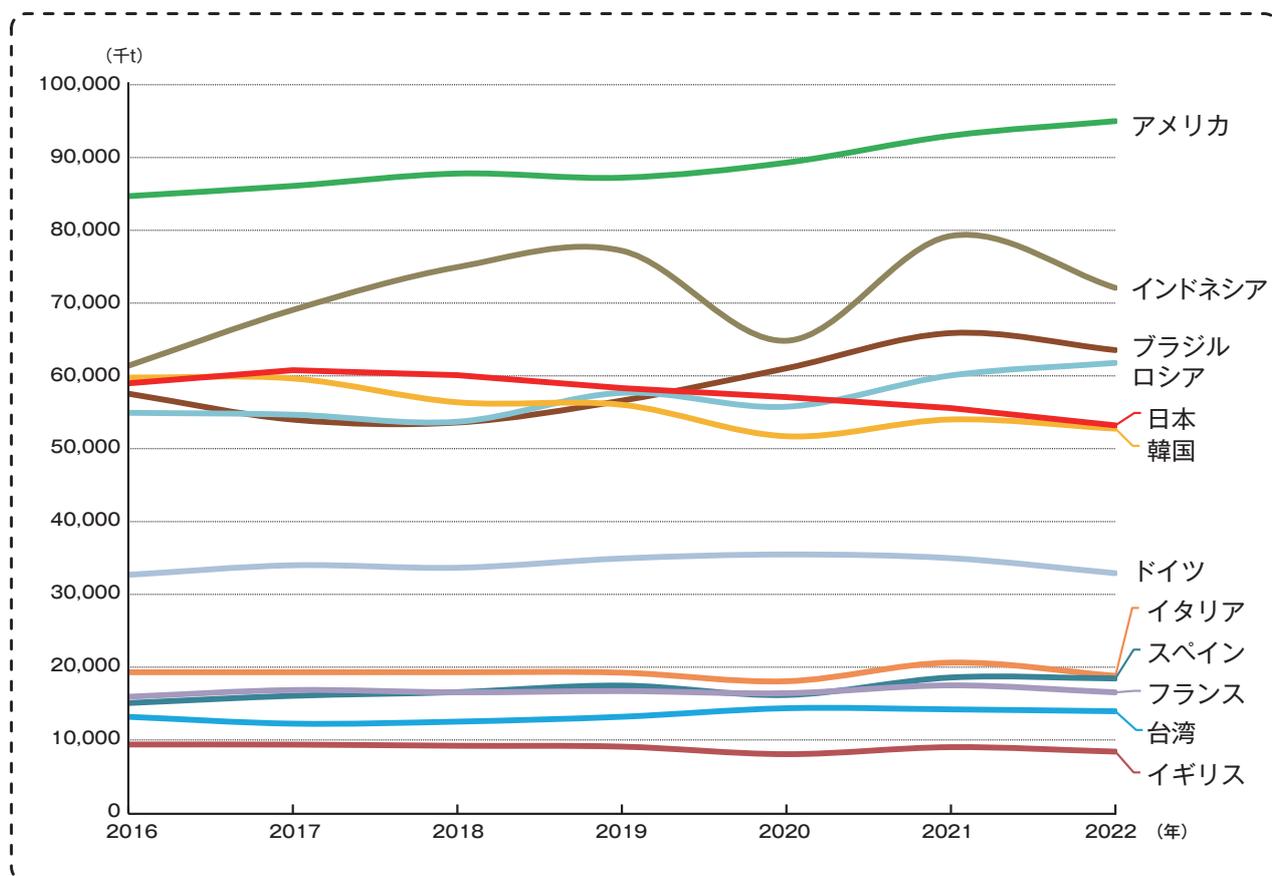
ストレートアスファルト：針入度60～80、ローリー

## IX. 世界のセメント生産量

### 1. 世界主要国のセメント生産量(暦年)



### 拡大グラフ



出典: 各国セメント協会、The Global Cement Report™ 15th Edition (Tradeship Publications Ltd)

## X. 関連経済指標

### 1. 国民経済計算（2015暦年連鎖価格）

（単位：億円、％）

項目		年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 (速報値)
民間最終消費支出			2,999,983 0.7	2,991,299 ▲ 0.3	3,021,864 1.0	3,023,576 0.1	2,996,195 ▲ 0.9	2,852,551 ▲ 4.8	2,903,038 1.8	2,978,968 2.6	2,967,868 ▲ 0.4	2,990,411 0.8
政府最終消費支出			1,062,615 2.2	1,071,875 0.9	1,074,942 0.3	1,086,793 1.1	1,109,740 2.1	1,140,149 2.7	1,176,634 3.2	1,189,536 1.1	1,180,289 ▲ 0.8	1,197,471 1.5
総固定資本形成	民間	住宅	204,154 3.1	212,952 4.3	209,117 ▲ 1.8	199,029 ▲ 4.8	204,224 2.6	189,075 ▲ 7.4	189,657 0.3	184,738 ▲ 2.6	186,288 0.8	184,335 ▲ 1.0
		企業設備	870,900 3.4	877,921 0.8	902,855 2.8	916,867 1.6	904,740 ▲ 1.3	853,613 ▲ 5.7	881,276 3.2	912,736 3.6	911,948 ▲ 0.1	935,568 2.6
		計	1,075,054 3.4	1,090,873 1.5	1,111,972 1.9	1,115,896 0.4	1,108,964 ▲ 0.6	1,042,688 ▲ 6.0	1,070,933 2.7	1,097,474 2.5	1,098,236 0.1	1,119,903 2.0
	公的	270,810 ▲ 1.3	272,186 0.5	273,950 0.6	276,279 0.9	280,821 1.6	294,474 4.9	275,682 ▲ 6.4	260,569 ▲ 5.5	259,683 ▲ 0.3	263,253 1.4	
	合計	1,345,902 2.4	1,363,029 1.3	1,385,808 1.7	1,391,901 0.4	1,389,732 ▲ 0.2	1,337,494 ▲ 3.8	1,346,062 0.6	1,356,195 0.8	1,356,556 0.0	1,381,100 1.8	
	在庫変動	民間企業	14,104	3,282	18,617	22,242	9,029	▲ 3,702	21,885	23,219	5,916	7,822
公的企業	▲ 600	▲ 2,810	791	▲ 706	▲ 84	▲ 943	122	222	264	42		
合計	13,504	472	19,408	21,536	8,945	▲ 4,645	22,007	23,441	6,180	7,864		
財貨・サービスの純輸出	輸出	936,167 1.1	968,316 3.4	1,029,649 6.3	1,049,995 2.0	1,025,900 ▲ 2.3	923,476 ▲ 10.0	1,038,946 12.5	1,090,381 5.0	1,123,890 3.1	1,142,914 1.7	
	輸入	964,995 0.4	960,539 ▲ 0.5	996,882 3.8	1,026,988 3.0	1,029,437 0.2	964,707 ▲ 6.3	1,035,095 7.3	1,112,145 7.4	1,081,596 ▲ 2.7	1,118,688 3.4	
	純輸出	▲ 28,828	7,776	32,768	23,007	▲ 3,537	▲ 41,232	3,851	▲ 21,763	42,294	24,227	
国内総支出	実質	5,394,135 1.7	5,434,791 0.8	5,531,735 1.8	5,545,320 0.2	5,501,172 ▲ 0.8	5,286,295 ▲ 3.9	5,447,179 3.0	5,519,829 1.3	5,554,396 0.6	5,597,887 0.8	
	名目	5,407,408 3.3	5,448,299 0.8	5,557,125 2.0	5,565,705 0.2	5,568,007 0.0	5,387,878 ▲ 3.2	5,545,720 2.9	5,671,308 2.3	5,947,082 4.9	6,169,095 3.7	
鉱工業生産指数			110.3	111.2	114.3	114.2	110.2	99.7	105.2	104.9	102.9	101.5
為替レート(円/ドル)			120.13	108.37	110.80	110.88	108.68	106.04	112.36	135.40	144.55	152.48

出所： 内閣府（2025年5月16日公表値）、経済産業省、日本銀行

（注）1. 下段は前年伸び率

2. 鉱工業生産指数は（2020年＝100）

3. 為替レートはインターバンク相場東京市場スポット・レート（中心相場年度平均）

## 2. 建設投資

(単位:億円、%)

項目		年度										
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 (見込み)	2023 (見込み)	2024 (見通し)	2025 (見通し)
建 築	住宅	164,808 5.5	172,209 4.5	175,629 2.0	172,580 ▲ 1.7	167,478 ▲ 3.0	154,715 ▲ 7.6	163,898 5.9	171,700 4.8	172,600 0.5	175,400 1.6	180,100 2.7
	非住宅	130,824 4.1	137,223 4.9	156,860 14.3	153,994 ▲ 1.8	155,383 0.9	122,976 ▲ 20.9	129,560 5.4	138,700 7.1	143,500 3.5	151,700 5.7	158,300 4.4
	建築補修 (改装・改修)	75,284 -	73,629 ▲ 2.2	76,103 3.4	78,282 2.9	78,956 0.9	99,912 26.5	112,354 12.5	117,400 4.5	146,800 25.0	156,200 6.4	151,000 ▲ 3.3
	計	370,916 31.6	383,061 3.3	408,592 6.7	404,856 ▲ 0.9	401,817 ▲ 0.8	377,603 ▲ 6.0	405,812 7.5	427,800 5.4	462,900 8.2	483,300 4.4	489,400 1.3
	(実質)	370,916 31.3	382,078 3.0	399,948 4.7	384,355 ▲ 3.9	372,835 ▲ 3.0	350,665 ▲ 5.9	357,985 2.1	354,127 ▲ 1.1	374,026 5.6	375,573 0.4	371,055 ▲ 1.2
	除 建築補修 (改装・改修)	295,632 4.9	309,432 4.7	332,489 7.5	326,574 ▲ 1.8	322,861 ▲ 1.1	277,691 ▲ 14.0	293,458 5.7	310,400 5.8	316,100 1.8	327,100 3.5	338,400 3.5
土 木	公共事業	119,549 ▲ 4.1	128,986 7.9	133,094 3.2	135,472 1.8	141,949 4.8	154,548 8.9	152,512 ▲ 1.3	155,600 2.0	147,100 ▲ 5.5	151,000 2.7	149,600 ▲ 0.9
	公共事業以外	76,003 11.2	75,352 ▲ 0.9	71,565 ▲ 5.0	77,943 8.9	79,514 2.0	97,630 22.8	98,493 0.9	101,900 3.5	100,900 ▲ 1.0	105,200 4.3	110,300 4.8
	計	195,552 1.3	204,338 4.5	204,659 0.2	213,415 4.3	221,463 3.8	252,178 13.9	251,005 ▲ 0.5	257,500 2.6	248,000 ▲ 3.7	256,200 3.3	259,900 1.4
	(実質)	195,552 1.0	203,824 4.2	199,814 ▲ 2.0	201,252 0.7	204,092 1.4	232,577 14.0	222,565 ▲ 4.3	216,067 ▲ 2.9	202,382 ▲ 6.3	200,351 ▲ 1.0	199,541 ▲ 0.4
総 額	総 額	566,468 19.3	587,399 3.7	613,251 4.4	618,271 0.8	623,280 0.8	629,781 1.0	656,817 4.3	685,300 4.3	710,900 3.7	739,500 4.0	749,300 1.3
	(実質)	566,468 19.0	585,902 3.4	599,762 2.4	585,607 ▲ 2.4	576,927 ▲ 1.5	583,242 1.1	580,550 ▲ 0.5	570,194 ▲ 1.8	576,408 1.1	575,924 ▲ 0.1	570,596 ▲ 0.9
	除 建築補修 (改装・改修)	491,184 3.4	513,770 4.6	537,148 4.6	539,989 0.5	544,324 0.8	529,869 ▲ 2.7	544,463 2.8	567,900 4.3	564,100 ▲ 0.7	583,300 3.4	598,300 2.6
政 府	政 府	202,048 8.6	209,862 3.9	217,800 3.8	215,910 ▲ 0.9	224,802 4.1	240,848 7.1	240,357 ▲ 0.2	244,900 1.9	252,700 3.2	264,400 4.6	264,500 0.0
	(実質)	202,048 8.2	209,223 3.6	212,604 1.6	203,623 ▲ 4.2	207,140 1.7	222,091 7.2	213,358 ▲ 3.9	205,319 ▲ 3.8	205,527 0.1	206,061 0.3	201,725 ▲ 2.1
	除 建築補修 (改装・改修)	188,764 1.4	196,429 4.1	204,604 4.2	202,861 ▲ 0.9	210,739 3.9	222,139 5.4	220,507 ▲ 0.7	226,200 2.6	226,300 0.0	236,600 4.6	240,500 1.6
民 間	民 間	364,420 26.2	377,537 3.6	395,451 4.7	402,361 1.7	398,478 ▲ 1.0	388,933 ▲ 2.4	416,460 7.1	440,400 5.7	458,200 4.0	475,100 3.7	484,800 2.0
	(実質)	364,420 26.0	376,679 3.4	387,158 2.8	381,984 ▲ 1.3	369,787 ▲ 3.2	361,151 ▲ 2.3	367,192 1.7	364,875 ▲ 0.6	370,881 1.6	369,863 ▲ 0.3	368,871 ▲ 0.3
	除 建築補修 (改装・改修)	302,420 4.7	317,341 4.9	332,544 4.8	337,128 1.4	333,585 ▲ 1.1	307,730 ▲ 7.8	323,956 5.3	341,700 5.5	337,800 ▲ 1.1	346,700 2.6	357,800 3.2

出所: 国土交通省(2024年8月)、建設経済研究所(2025年4月)

(注)1. 実質値は2015年度基準 2. 下段は前年伸び率

3. 各項目の合計は必ずしも一致しない 4. 建築補修(改装・改修)投資額については2015年度より計上

### 3. 建設工事受注、公共工事前払金保証関係請負額、建築着工

(単位:百万円、%、千㎡、戸)

項目		年度									
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
GC国内工事受注額	公共	3,568,450 ▲ 15.6	3,868,455 8.4	3,659,897 ▲ 5.4	3,112,638 ▲ 15.0	3,013,980 ▲ 3.2	3,905,478 29.6	3,349,675 ▲ 14.2	3,704,486 10.6	4,286,854 15.7	4,113,019 ▲ 4.1
	民間	9,596,314 7.9	10,087,852 5.1	10,150,183 0.6	11,626,854 14.5	10,611,375 ▲ 8.7	10,096,406 ▲ 4.9	10,926,694 8.2	11,635,718 6.5	12,536,034 7.7	13,645,657 8.9
	合計	13,677,959 0.6	14,475,335 5.8	14,342,519 ▲ 0.9	15,210,241 6.0	14,129,432 ▲ 7.1	14,521,781 2.8	14,735,017 1.5	15,885,181 7.8	17,344,935 9.2	18,316,864 5.6
公共工事前払金保証関係請負額		13,967,768 ▲ 3.8	14,539,482 4.1	13,908,073 ▲ 4.3	14,068,014 1.1	15,025,453 6.8	15,365,760 2.3	14,050,279 ▲ 8.6	13,993,700 ▲ 0.4	14,740,516 5.3	15,205,442 3.2
建築物積着工	居住用	79,436 1.6	82,853 4.3	79,717 ▲ 3.8	80,063 0.4	76,954 ▲ 3.9	69,378 ▲ 9.8	74,413 7.3	71,824 ▲ 3.5	65,522 ▲ 8.8	65,706 0.3
	非居住用	49,988 ▲ 5.0	51,334 2.7	53,313 3.9	51,016 ▲ 4.3	47,979 ▲ 6.0	44,921 ▲ 6.4	48,055 7.0	46,899 ▲ 2.4	42,793 ▲ 8.8	38,740 ▲ 9.5
	合計	129,424 ▲ 1.0	134,187 3.7	133,029 ▲ 0.9	131,079 ▲ 1.5	124,933 ▲ 4.7	114,300 ▲ 8.5	122,468 7.1	118,722 ▲ 3.1	108,316 ▲ 8.8	104,446 ▲ 3.6
新着設工住宅	戸数	920,537 4.6	974,137 5.8	946,396 ▲ 2.8	952,936 0.7	883,687 ▲ 7.3	812,164 ▲ 8.1	865,909 6.6	860,828 ▲ 0.6	800,226 ▲ 7.0	816,018 2.0
	床面積	75,592 2.1	78,705 4.1	75,829 ▲ 3.7	76,573 1.0	73,107 ▲ 4.5	66,299 ▲ 9.3	71,161 7.3	68,651 ▲ 3.5	62,199 ▲ 9.4	62,830 1.0

出所: 国土交通省、公共工事前払金保証関係請負額は各保証事業者

(注)1. 下段は前年伸び率

2. 「GC国内工事受注額」の合計には駐留軍・外国公館、小口工事を含む

### 4. 主要国の建設投資と建設業

項目	日本	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ	韓国
名目GDP(兆円)	566.5	3,385.4	397.7	372.5	543.8	220.5
建設投資額(兆円)	68.5	289.1	34.2	46.6	61.0	34.2
平均増加率(22年/17年)(%)	2.2	6.0	4.6	5.2	7.6	2.7
同対GDP比(%)	12.1	8.5	8.6	12.5	11.2	15.5
建設業者数(千社)	475	903	374	530	387	87
就業者数(全産業)(千人)	67,230	158,291	32,743	28,341	42,529	28,229
建設就業者数(千人)	4,790	12,277	2,179	1,839	2,627	2,123
全就業者に占める割合(%)	7.1	7.8	6.7	6.5	6.2	7.5

出典: 「建設業デジタルハンドブック」(一般社団法人日本建設業連合会)

(注)1. 調査年は2022年、日本の名目GDP及び建設投資額は年度値、建設業者数は年度末時点

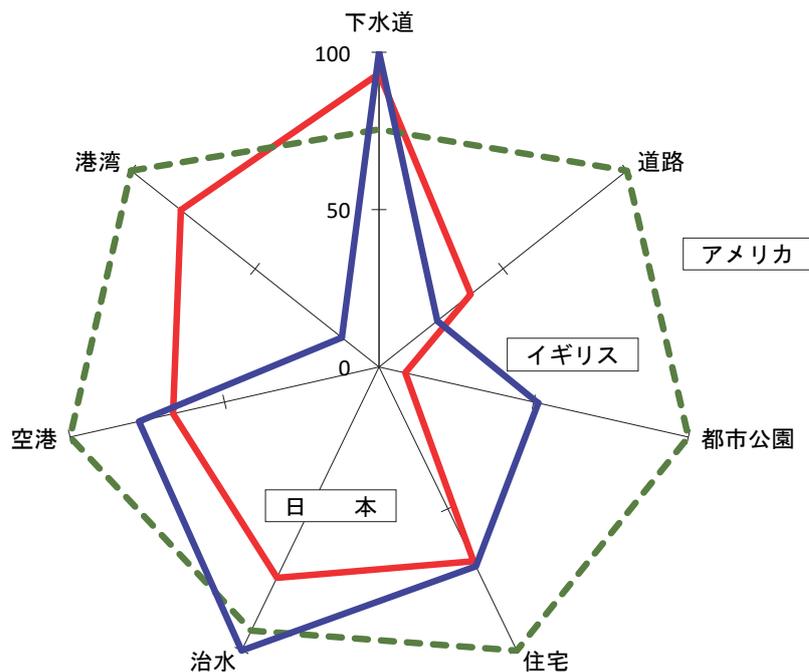
2. ドイツの建設業者数にはレンタル業者を含む

3. 為替レート(2022年期中平均) 1ドル=131.50円、1ポンド=158.69円、1ユーロ=140.26円、1ウォン=0.102円

4. 建設投資額(除日本): 総固定資本形成のうち、住宅、住宅以外の建物及び構築物の計

## 5. 社会資本整備の状況

### (1) 国際比較



(注) グラフは下表から日本、アメリカ、イギリスを抽出し、各指標の最高値を100として指数化した

分野	下水道	道路	都市公園	住宅	治水	空港	港湾
指標	下水道処理人口普及率	自動車1万台当たり高規格幹線道路延長	都市公園一人当たり面積	住宅一人当たり床面積	堤防等整備率	主要都市空港の滑走路数	水深16m級の岸壁供用バース数
日本	93.3%	1.47km	4.4m <sup>2</sup>	41.9m <sup>2</sup>	74.3%	6	16
アメリカ	75.5%	3.97km	52.3m <sup>2</sup>	61.1m <sup>2</sup>	93%	9	20
イギリス	100.0%	0.93km	26.9m <sup>2</sup>	43.0m <sup>2</sup>	100%	7	3
ドイツ	97.1%	2.65km	27.9m <sup>2</sup>	50.5m <sup>2</sup>	—	2	39
フランス	81.1%	2.97km	11.6m <sup>2</sup>	56.3m <sup>2</sup>	100%	7	6

#### 【調査年】

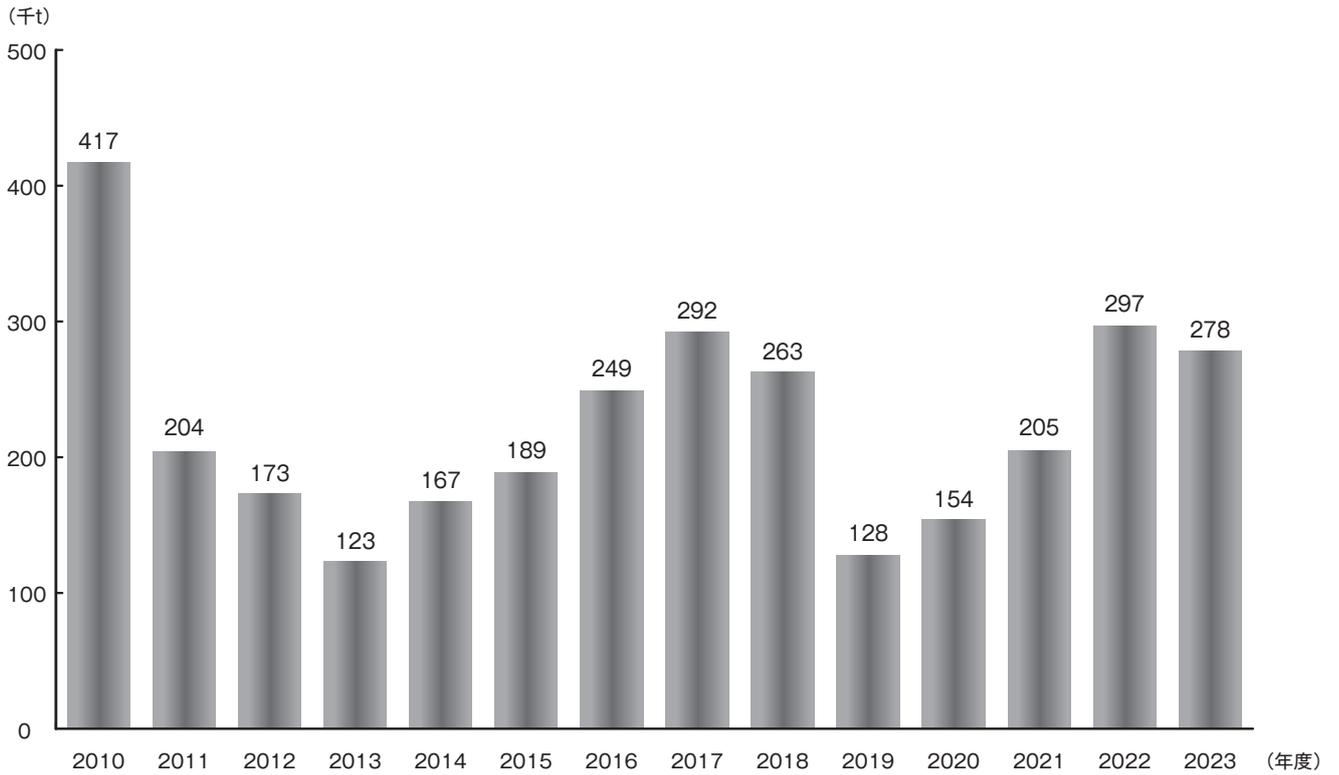
日本	23年度末	16年度末	24年	23年	24年3月末	22年	23年度末
アメリカ	12年	16年	07年	21年	12年	22年	16年
イギリス	14年	16年	97年	21年	83年	22年	16年
ドイツ	16年	16年	07年	21年	—	22年	16年
フランス	18年	16年	09年	20年	88年	22年	16年

#### 【備考】

日本	—	—	東京区部	—	荒川	東京・千葉	—
アメリカ	—	—	ワシントンD.C	—	ミシシッピ川	ニューヨーク	—
イギリス	—	—	ロンドン	—	テムズ川	ロンドン	—
ドイツ	—	—	ベルリン	—	—	ベルリン	—
フランス	—	—	パリ	—	セーヌ川	パリ	—

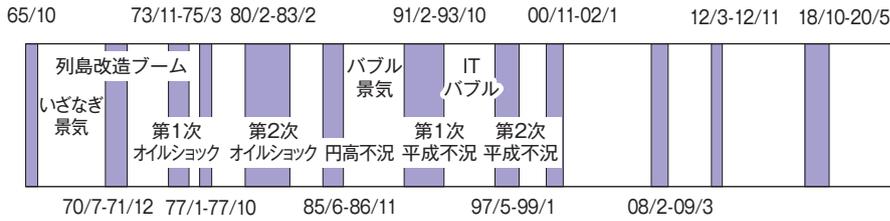
出典：国土交通白書2024(国土交通省)

(2) ダム向セメント納入量



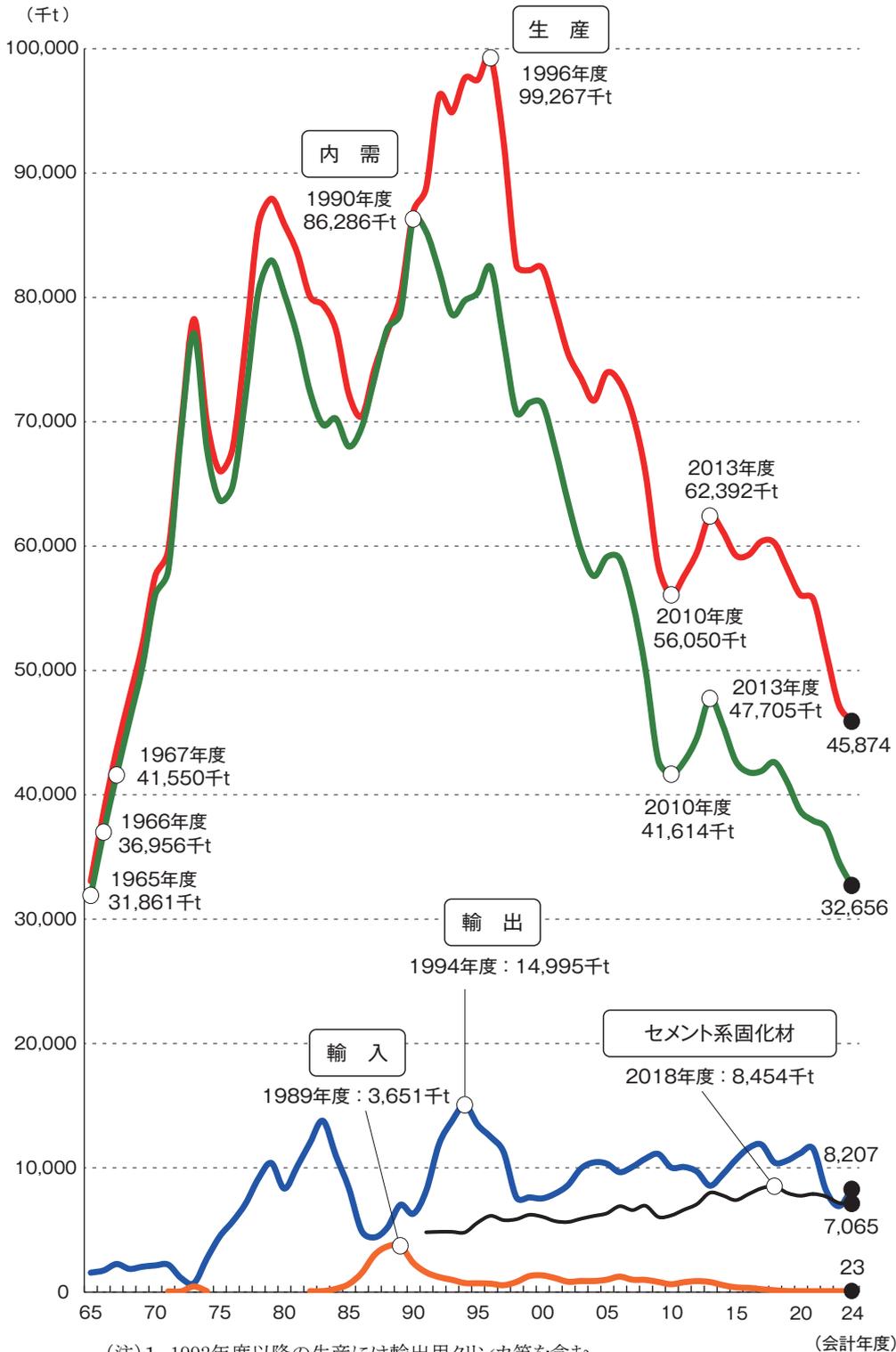
主な ダム名	湯西川 (栃木)	シューパロ (北海道)	第二浜田 (島根)	津軽 (青森)	五ヶ山 (福岡)	五ヶ山 (福岡)	伊良原 (福岡)	八ッ場 (群馬)	八ッ場 (群馬)	栂川 (香川)	成瀬 (秋田)	成瀬 (秋田)	成瀬 (秋田)	成瀬 (秋田)
	シューパロ (北海道)	湯西川 (栃木)	津軽 (青森)	第二浜田 (島根)	金出地 (兵庫)	厚幌 (北海道)	サンル (北海道)	サンル (北海道)	小石原川 (福岡)	川上 (三重)	川上 (三重)	立野 (熊本)	立野 (熊本)	足羽川 (福井)
	当別 (北海道)	億首 (沖縄)	与布土 (兵庫)	金出地 (兵庫)	鶴田 (鹿児島)	伊良原 (福岡)	八ッ場 (群馬)	平瀬 (山口)	新桂沢 (北海道)	小石原川 (福岡)	玉来 (大分)	安威川 (大阪)	南摩 (栃木)	南摩 (栃木)

## セメント需給の推移



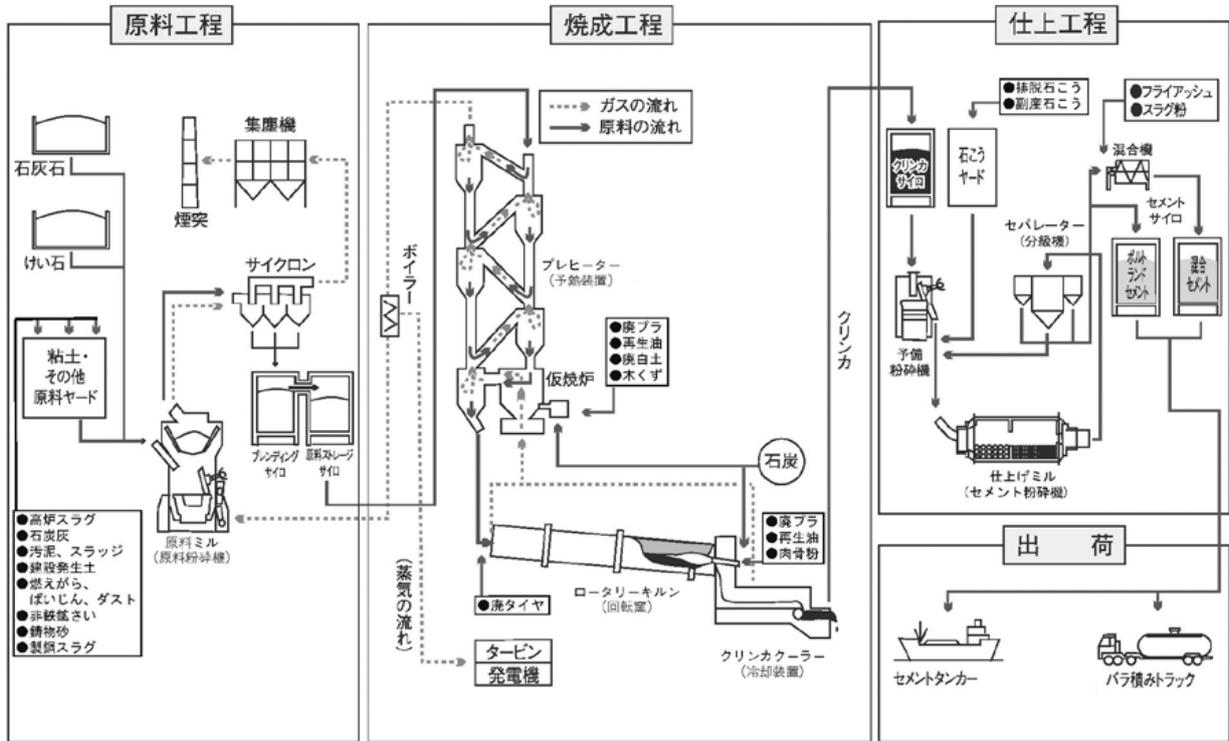
### 1995年以降のセメントに関わる主な出来事

- 1995. 1 阪神大震災
- 1997. 4 消費税率3%→5%
- 1998~ 累次に亘る経済対策
- 2004 台風10個上陸  
10 新潟県中越地震
- 2007. 6 改正建築基準法
- 2008. 9 リーマンショック
- 2009. 9 民主党政権誕生
- 2011. 3 東日本大震災
- 2014. 4 消費税率5%→8%
- 2016. 4 熊本地震
- 2018. 6 大阪北部地震  
7 西日本豪雨  
9 台風21号上陸  
北海道胆振東部地震
- 2019.6~10 前線、台風による爆風雨・豪雨 (台風15号、19号他5個上陸)
- 2019.10 消費税率8%→10%
- 2020~ 新型コロナウイルス感染拡大  
7 令和2年7月豪雨
- 2021.7~8 東京オリンピック・パラリンピック開催  
石炭価格の上昇
- 2022. 2 ロシアのウクライナ侵攻  
石炭価格の高騰
- 2024. 1 令和6年能登半島地震
- 2024. 4 建設業、物流業における時間外労働上限規制の適用



(注) 1. 1992年度以降の生産には輸出用クリンカ等を含む  
 2. 2006年度以降エコセメントを含む  
 3. セメント系固化材は1991年度より調査開始

## セメントの製造工程



## JISセメントの種類

セメントの種類		混合材 (質量%)	少量混合成分 <sup>(1)</sup> (質量%)
ポルトランドセメント [JIS R 5210]	普通	—	5以下 <sup>(2)</sup>
	早強	—	
	超早強	—	—
	中庸熱	—	
	低熱	—	
	耐硫酸塩	—	
高炉セメント [JIS R 5211]	A種	5を超え30以下	クリンカ、せっこう 及び少量混合成分 の含量に対し、 質量で5以下 <sup>(3)</sup>
	B種	30を超え60以下	
	C種	60を超え70以下	
シリカセメント [JIS R 5212]	A種	5を超え10以下	
	B種	10を超え20以下	
	C種	20を超え30以下	
フライアッシュセメント [JIS R 5213]	A種	5を超え10以下	
	B種	10を超え20以下	
	C種	20を超え30以下	
エコセメント [JIS R 5214]	普通	—	5以下 <sup>(4)</sup>
	速硬	—	

注(1) 高炉スラグ、シリカ質混合材、フライアッシュ、石灰石

(2) 普通ポルトランドセメントに対し、最大許容量を10%とする改正等を検討中

(3) 混合セメントの場合は主混合材(例えば、高炉セメントでは高炉スラグ)を除く

(4) 石灰石に限定

## セメント協会加盟会社一覧 (2025年6月現在)

- 八戸セメント株式会社  
本社 031-0813 青森県八戸市大字新井田字下鷹待場7-1 TEL0178-33-0111
- 日鉄高炉セメント株式会社  
本社 803-0801 福岡県北九州市小倉北区西港町16 TEL093-563-5100
- 日鉄セメント株式会社  
本社 050-8510 北海道室蘭市仲町64 TEL0143-44-1693  
東京支店 103-0022 東京都中央区日本橋室町4-3-12(バンセイ室町ビル) TEL03-3279-0581
- 東ソー株式会社  
東京本社 104-8467 東京都中央区八重洲2-2-1(東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー) TEL03-6636-3700  
南陽事業所 746-8501 山口県周南市開成町4560 TEL0834-63-9800
- 株式会社トクヤマ  
本社 745-8648 山口県周南市御影町1-1 TEL0834-34-2000  
セメント部門 101-8618 東京都千代田区外神田1-7-5(フロントプレイス秋葉原) TEL03-5207-2520
- 琉球セメント株式会社  
本社 901-2123 沖縄県浦添市西洲2-2-2 TEL098-870-1080
- 荻田セメント株式会社  
本社 820-0018 福岡県飯塚市芳雄町7-18 TEL0948-22-3604
- 太平洋セメント株式会社  
本社 112-8503 東京都文京区小石川1-1-1(文京ガーデン ゲートタワー) TEL03-5801-0333
- 敦賀セメント株式会社  
本社 914-8686 福井県敦賀市泉2-6-1 TEL0770-22-1100
- 株式会社ダイ・シイ  
本社 210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町8(パレール三井ビルディング) TEL044-223-4751
- デンカ株式会社  
本社 103-8338 東京都中央区日本橋室町2-1-1(日本橋三井タワー) TEL03-5290-5055
- 麻生セメント株式会社  
本社 814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-4-27(AIビル) TEL092-833-5100
- UBE三菱セメント株式会社  
本社 100-8521 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビル TEL03-6275-0330
- 明星セメント株式会社  
本社 941-0064 新潟県糸魚川市上刈7-1-1 TEL025-552-2011
- 日立セメント株式会社  
本社 317-0062 茨城県日立市平和町2-1-1 TEL0294-22-2111  
東京事務所 161-0033 東京都新宿区下落合3-14-28(丸株ビル) TEL03-6908-2823
- 住友大阪セメント株式会社  
本社 105-8641 東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル) TEL03-6370-2700

ISBN978-4-88175-188-6 C0060

---

---

## セメントハンドブック 2025年度版

---

2025年6月16日発行

編集・発行 一般社団法人セメント協会

104-0041 東京都中央区新富2-15-5

TEL 03(5540)6171(代)

URL:<https://www.jcassoc.or.jp>

---

---

印刷・製本 エクセルアート株式会社

ご利用の際には、出典を明記してください。

Copyright © 2025 JAPAN CEMENT ASSOCIATION All Rights Reserved.

コンクリート舗装をより活用できる技術資料

HPで無料公開中

## 1DAY PAVE 製造施工マニュアル(第2版)

養生1日で交通開放可能なコンクリート舗装について解説



## コンクリート舗装の補修技術資料

コンクリート舗装の補修技術について詳細に解説



提案します  
耐久性に優れたコンクリート舗装は、  
次世代につながる資産です。

# コンクリート舗装4つの特長

## 高い耐久性

耐久性が極めて高く、適切に施工・維持管理を行えば補修工事・規制を大幅に削減できます。

長期供用路線の一例



供用68年



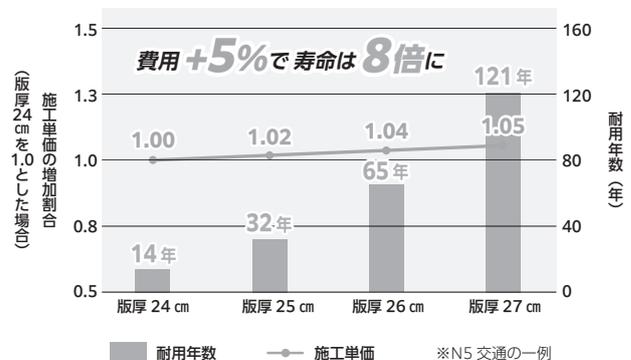
供用54年

国道20号：1957年施工

国道112号：1971年施工

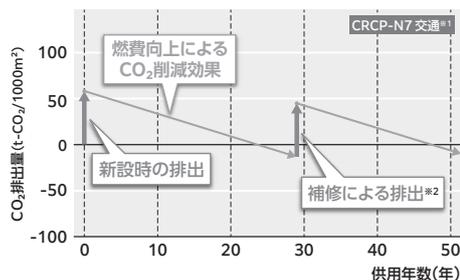
## 長寿命化が容易

版厚を増すことで容易に長寿命化ができ、数%の費用増で寿命を何倍にも伸ばすことが可能です。



## 大型車の燃費改善

大型車の燃費を平均2.8%改善することができ、CN（カーボンニュートラル）に貢献できます。



大型車の燃料消費を抑制し物流によるCO<sub>2</sub>排出を削減

供用が進むに従いカーボンニュートラルに近づきます

## 環境への貢献

セメントは国内最大の静脈産業であり、多くの廃棄物を活用しつつ、新たな廃棄物を出さず、循環型社会の構築、最終処分場の延命に貢献します。

下水・浄水汚泥  
 ゴミ燃焼灰  
 廃プラスチック  
 建設発生土・汚泥  
 石炭灰  
 etc

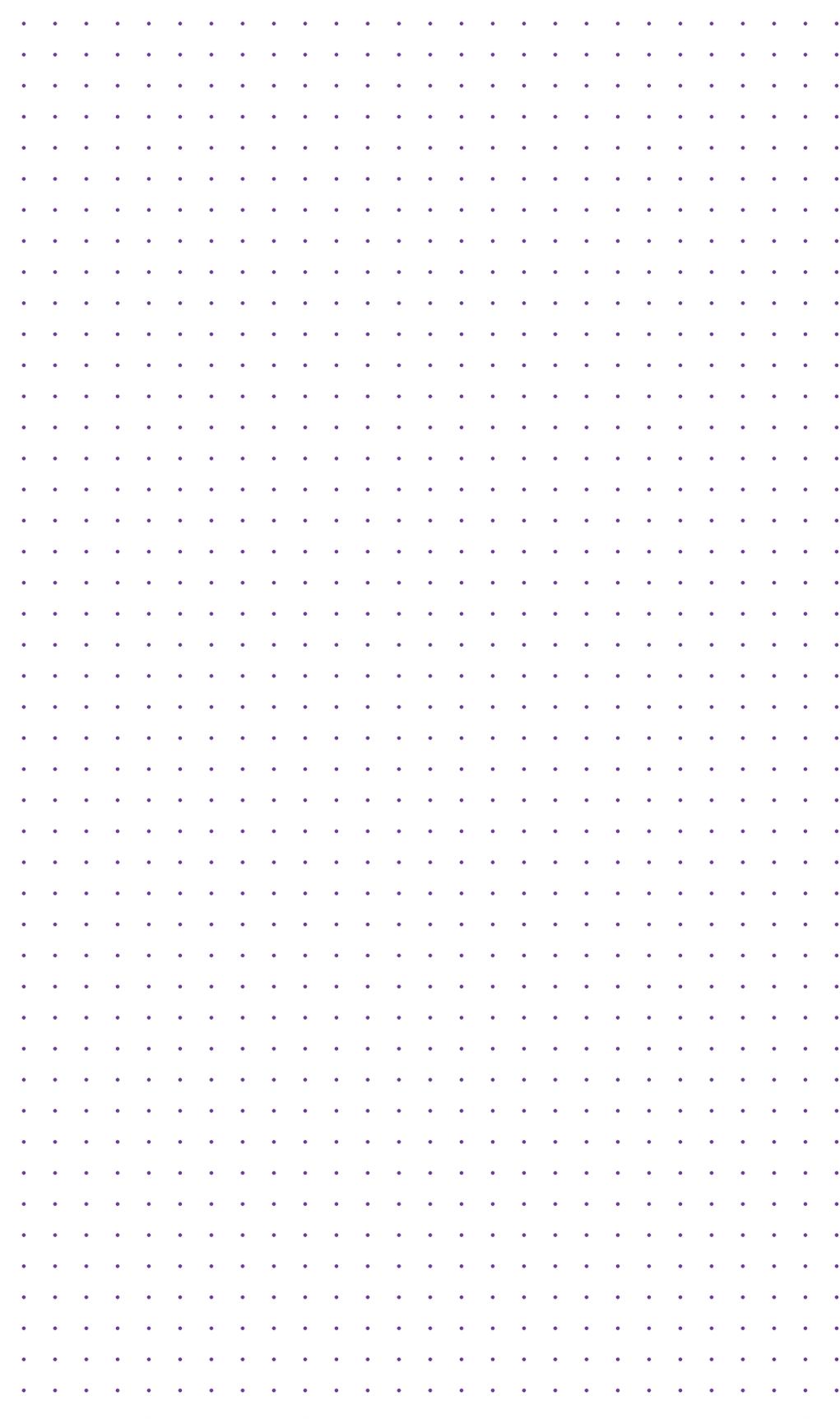
セメント産業からの廃棄物はほぼ0です※

全てがセメント原料になります

## セメント1tあたり480kgの廃棄物を循環利用

※セメント製造における最終処分廃棄物はセメント1t当たり4.7g (2023年)

※1 連続鉄筋コンクリート舗装(高炉セメント)、大型車交通3000台/日における試算(セ協調べ)  
 ※2 供用29年で打替え、29年は実道における補修が必要になるまでの平均供用年数(NEXCO調べ)  
 ※3 国内の調査結果0.8%~4.8%の平均値



# **CEMENT HANDBOOK 2025**